

閲覧用



実務経験のある教員等による
授業科目の一覧表

添付書類① 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

全教科実務経験のある教員による授業

美容本科（昼間部）						
	教科名	2年間合計の 授業時間数	省令時間	実務 経験	シラ バス	種類
必修科目	関係法規・制度	30	1	○		講義
	衛生管理	90	3	○		講義
	保健	90	3	○		講義
	香粧品化学	60	2	○		講義
	文化論	60	2	○		講義
	美容技術理論	150	5	○		講義
	運営管理	30	1	○		講義
	美容実習	900	30	○	☆	実技
一般教養課目群	一般教養	30	1	○		講義
選択必修科目	メイクアップ	120	4	○		実技
	トータルビューティ	180	6	○		実技
	アドバンス	270	9	○		実技
	計	2010	67			

☆=シラバスを提出した課目

閱覽用



理事名簿

【要件２】 外部人材の理事への任命に関する申請書 【様式第２号２－①に関する添付書類】

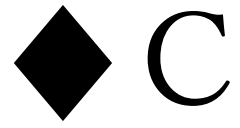
◆学校名 学校法人コーセー学園 コーセー美容専門学校

◆理事名簿

役 職	氏 名	前職/現職
理事長	小林 正典	株式会社コーセー 常務取締役
理事	牛村 稔	学校法人コーセー学園 コーセー美容専門学校 校長
理事	○ 高橋 利朗	サロン・ド・ボーテ タカハシ 会長
理事	○ 正宗 卓	西洋髪結 代表取締役 会長
理事	○ 白坂 春光	株式会社ヴィサージュクリエーション 代表取締役
理事	○ 張 秋華	大学院教授
理事	○ 小宮 千英	株式会社コーセー執行役員／美容開発部長

学外理事・・・名前の前に赤丸○で色分け

閲覧用



授業計画(シラバス)

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	Ⓐ前期Ⓑ後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	衛生管理	佐々木 桂子	3単位	90時間以上

授業の到達目標及びテーマ
美容上必要な衛生管理について理解することにより、美容師国家試験に合格すること。 ・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要
公衆衛生の意義と本質とを明らかにすること 美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならない 特に、環境衛生の意義と目的について、美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させる

回	授業計画及び学習の内容
1	公衆衛生 公衆衛生の意義と課題
2	公衆衛生 公衆衛生の発展の歴史
3	公衆衛生 理容師・美容師と公衆衛生
4	保険 母子、成人、高齢者、精神保健
5	環境衛生 環境衛生の概要
6	環境衛生 空気環境
7	環境衛生 衣服・住居の衛生
8	環境衛生 上下水道と廃棄物
9	環境衛生 衛生害虫とネズミ
10	環境衛生 環境保全
11	感染症の総論 人と感染症
12	感染症の総論 病原微生物
13	感染症の総論 感染症の予防
14	感染症の各論 理容・美容と感染症
15	感染症の各論 主な感染症
16	感染症の各論 具体的な対策の例
17	消毒法総論 消毒とは
18	消毒法総論 消毒の意義
19	消毒法総論 理容・美容の義務と消毒との関係
20	消毒法総論 消毒法と適用上の注意
21	消毒法各論 理学的消毒法(殺菌法)
22	消毒法各論 科学的消毒法(殺菌法)
23	消毒法各論 すぐれた消毒法とその実施上の注意
24	消毒法実習 各種消毒薬
25	消毒法実習 理容所の消毒の実際
26	消毒法実習 理容所・美容所の清潔法の実際
27	理容所及び美容所における衛生管理要領 第1目的～第4衛生的取扱い等
28	理容所及び美容所における衛生管理要領 第5消毒～第6自主管理体制
29	理・美容所の自主管理点検票

成績評価方法
期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。 出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介
講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。 公衆衛生の現場で40年働いてきており、豊富な知識を有している。そこで培った知識を元に授業を展開する。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	前期後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	衛生管理	岡田 博	3単位	90時間以上

授業の到達目標及びテーマ

美容上必要な衛生管理について理解することにより、美容師国家試験に合格すること。
・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要

公衆衛生の意義と本質とを明らかにすること
美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならない
特に、環境衛生の意義と目的について、美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させる

回 授業計画及び学習の内容

1	公衆衛生	公衆衛生の意義と課題
2	公衆衛生	公衆衛生の発展の歴史
3	公衆衛生	理容師・美容師と公衆衛生
4	保険	母子、成人、高齢者、精神保健
5	環境衛生	環境衛生の概要
6	環境衛生	空気環境
7	環境衛生	衣服・住居の衛生
8	環境衛生	上下水道と廃棄物
9	環境衛生	衛生害虫とネズミ
10	環境衛生	環境保全
11	感染症の総論	人と感染症
12	感染症の総論	病原微生物
13	感染症の総論	感染症の予防
14	感染症の各論	理容・美容と感染症
15	感染症の各論	主な感染症
16	感染症の各論	具体的な対策の例
17	消毒法総論	消毒とは
18	消毒法総論	消毒の意義
19	消毒法総論	理容・美容の義務と消毒との関係
20	消毒法総論	消毒法と適用上の注意
21	消毒法各論	理学的消毒法(殺菌法)
22	消毒法各論	科学的消毒法(殺菌法)
23	消毒法各論	すぐれた消毒法とその実施上の注意
24	消毒法実習	各種消毒薬
25	消毒法実習	理容所の消毒の実際
26	消毒法実習	理容所・美容所の清潔法の実際
27	理容所及び美容所における衛生管理要領	第1目的～第4衛生的取扱い等
28	理容所及び美容所における衛生管理要領	第5消毒～第6自主管理体制
29	理・美容所の自主管理点検票	

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。
薬剤師免許を保持、その知識を生かした授業を展開する。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	保健	川中 芳枝	3単位	90時間以上

授業の到達目標及びテーマ

美容師として必要な「人体の構造と機能、皮膚科学」に関する基礎を学習する。人体の生理解剖や皮膚・毛髪などの構造・生理機能の基礎を学ぶ。

講義概要

美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解させる

回	授業計画及び学習の内容		
1	人体の構造及び機能	頭部、顔部、頸部、体表解剖学	
2	人体の構造及び機能	骨角器系	
3	人体の構造及び機能	筋系	
4	人体の構造及び機能	神経系	
5	人体の構造及び機能	感覚器系	
6	人体の構造及び機能	血液・循環器系	
7	人体の構造及び機能	呼吸器系	
8	人体の構造及び機能	消化器系	
9	皮膚科学	皮膚の構造	
10	皮膚科学	皮膚付属器官の構造	
11	皮膚科学	皮膚の循環器系と神経系	
12	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	
13	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の保健	
14	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の疾患	
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。
獣医師としてのキャリアも長く、その中で培った公衆衛生や、感染症、などの知識を生かし
授業を展開する。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	香粧品化学	田辺 篤子	2単位	60時間以上

授業の到達目標及びテーマ

香粧品の原料や配合、性状、使用目的などについて理解させる。□

さらに香粧品の社会的意義や法的な根拠、製品の安全性に関する知識を深めさせる。

最終目標である国家試験合格に向け、問題解決の応用力を習得させる。

講義概要

香粧品の社会的意義と法規制、および香粧品の安定性と安全性に関して概説する。

香粧品原料(水性原料、油性原料、界面活性剤、高分子化合物、色材、香料etc)について解説する。□

香粧品の各製品形態(基礎化粧品、メイクアップ製品、頭髮化粧品、フレグランス製品、その他)ごとの特徴や配合成分を解説する。□

回	授業計画及び学習の内容	
1	香粧品概論	香粧品の社会的意義と品質特性
2	香粧品概論	香粧品の規則
3	香粧品概論	香粧品の安定性と取扱い上の注意
4	香粧品概論	香粧品と安全性
5	香粧品用原料	香粧品の対象となる人体各部の性状
6	香粧品用原料	水性原料
7	香粧品用原料	油性原料
8	香粧品用原料	界面活性剤
9	香粧品用原料	高分子化合物
10	香粧品用原料	色材
11	香粧品用原料	香料
12	香粧品用原料	その他の配合成分
13	香粧品用原料	ネイル、まつ毛エクステンション用材料
14	基礎化粧品	皮膚清掃用香粧品
15	基礎化粧品	化粧水
16	基礎化粧品	クリーム乳液
17	基礎化粧品	その他の基礎香粧品
18	メイクアップ用香粧品	メイクアップ用香粧品の種類と剤形
19	メイクアップ用香粧品	ベースメイクアップ香粧品
20	メイクアップ用香粧品	ポイントメイクアップ香粧品
21	頭皮・毛髪用香粧品	シャンプー剤
22	頭皮・毛髪用香粧品	スタイリング剤
23	頭皮・毛髪用香粧品	パーマ剤
24	頭皮・毛髪用香粧品	ヘアカラー製品
25	頭皮・毛髪用香粧品	育毛剤
26	芳香製品と特殊香粧品	芳香製品
27	芳香製品と特殊香粧品	特殊香粧品
28	香粧品化学を理解するための基礎化学	
29		

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。

出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。

工学部を卒業し、その後株式会社コーセーで化粧品に関わる業務に従事

そこから培われた知識を元に授業を展開する。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	前期後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	文化論	羽根田 祐弥	2単位	60時間以上

授業の到達目標及びテーマ

我が国における美容ファッションの変遷について学ぶ。造形の原理、造形と心理、美容における造形の意義
色彩の原理、色彩と心理、美容における色彩を学ぶ。
服飾の原理、美容における服飾の意義などについて理解させる

講義概要

美容業の使命の一人が、より優れた人間美の創造、実現にあることをよく認識させ、この使命の達成のために必要な美的感覚を身に付ける
これを洗練し、芸術的な表現力と鑑賞力とを養う
美容の業務を全うするためには、確かな技術力を身に付けるとともに、豊かな感性に裏打ちされた優れた表現力を養うことが必要である

回

授業計画及び学習の内容	
1	総論
2	日本の理容業・美容業の歴史 理容業・美容業の発生 江戸時代の理容業・美容業 近代の理容業・美容業 現代の理容業・美容業
3	ファッション文化史日本編 縄文、弥生、古墳時代 古代、中世、近世、近代、現代
4	ファッション文化史西洋編 近世、近代、現代
5	礼装の種類 和装、洋装の礼装

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。
美容室に長年勤務し、その後平成18年に当校の教員となり、平成19年に美容技術理論の資格を取得する。
今までの経験からくる美容の知識や、現在まで培われた国家試験のノウハウを駆使し授業が行われ
国家試験でも多くの学生を合格に導いている。
2023年度からは教務主任に就任し学校全体を支援するようになる。2024年度文化論の資格を習得

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容技術理論	羽根田 祐弥	5単位	150時間以上

授業の到達目標及びテーマ

人間の手と器具の働き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる
コーム、ヘアブラシ、レザー及びヘアアイロンについて、その種類、各部の名称、使用目的
形態と機能、選定法、研磨法、基本的操作法、手入れ法などを学ぶ

講義概要

美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣とを養い、工夫と創造の能力とを身に付けさせる
美容器具の正しい取扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させる
優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	美容技術理論を学ぶにあたって 美容技術 作業姿勢 人体名称
2	美容用具 美容技術における用具 コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー ヘアスチーマー、遠赤外線機
3	シャンプーイング シャンプーイング総論、サイドシャンプー、バックシャンプー、リンス・コンディショナー・トリートメント・スキャルプトリートメント、ヘッドスパ
4	ヘアデザイン 美容とデザイン
5	ヘアカッティング シザーズとレザーの扱い方、美容刃物、ブロッキング、ヘアカッティング理論、ベーシックなカット技法、シザーズによる技法 レザーによるカット技法
6	パーマメントウエービング パーマメントウェーブ(歴史、現在、理論) パーマ剤(分類、注意事項) パーマメントウェーブ技術、ワインディングバリエーション、縮毛強制
7	ヘアセッティング ヘアセッティングとは、ヘアパーティング、ヘアシェービング、ヘアカーリング、ヘアウエービング、ブロードドライ、アイロンセッティング、バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピース
8	ヘアカラーリング ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類、ヘアカラーのタイプ別特徴、染毛のメカニズム、色の基本 毛髪のレベルとアンダートーン、パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具、酸化染毛剤の技術手順 酸性染毛料の技術手順、ヘアブリーチ

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。
美容室に長年勤務し、その後平成18年に当校の教員となり、平成19年に美容技術理論の資格を取得する。
今までの経験からくる美容の知識や、現在まで培われた国家試験のノウハウを駆使し授業が行われ
国家試験でも多くの学生を合格に導いている。
2023年度からは教務主任に就任し学校全体を支援するようになる。2024年度文化論の資格を習得

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容技術理論	菅野 絵理	5単位	150時間以上

授業の到達目標及びテーマ	165時間
--------------	-------

人間の手と器具の働き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる
コーム、ヘアブラシ、レザー及びヘアアイロンについて、その種類、各部の名称、使用目的
形態と機能、選定法、研磨法、基本的操作法、手入れ法などを学ぶ

講義概要

美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣とを養い、工夫と創造の能力とを身に付けさせる
美容器具の正しい取扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させる
優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	美容技術理論を学ぶにあたって 美容技術 作業姿勢 人体名称
2	美容用具 美容技術における用具 コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー ヘアスチーマー、遠赤外線機
3	シャンプーイング シャンプーイング総論、サイドシャンプー、バックシャンプー、リンス・コンディショナー・トリートメント・スカルプトリートメント、ヘッドスパ
4	ヘアデザイン 美容とデザイン
5	ヘアカッティング シザーズとレザーの扱い方、美容刃物、ブロッキング、ヘアカッティング理論、ベーシックなカット技法、シザーズによる技法 レザーによるカット技法
6	パーマメントウエービング パーマメントウェーブ(歴史、現在、理論) パーマ剤(分類、注意事項) パーマメントウェーブ技術、ワインディングバリエーション、縮毛強制
7	ヘアセッティング ヘアセッティングとは、ヘアパーティング、ヘアシェービング、ヘアカーリング、ヘアウエービング、ブロードライ、アイロンセッティング、バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピース
8	ヘアカラーリング ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類、ヘアカラーのタイプ別特徴、染毛のメカニズム、色の基本 毛髪のレベルとアンダートーン、パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具、酸化染毛剤の技術手順 酸性染毛料の技術手順、ヘアプリーチ

成績評価方法

期末試験100点満点として採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

基礎技術から応用技術まで、実技理論に基づきモデルウィッグを使つてのトレーニングを行い、
相モデル形式での実践トレーニングなど適宜取り入れる。
2023年6月より当校の教員となり現在まで従事している。実直な人柄で学生からの信頼も厚い。
新しい知識SNSなどの活用も明るく、新しい価値観を持った教員である。だからと言ってひけらかす事はない。
これからの新しい学校を作っていく教員である。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容技術理論	山城 一史	5単位	150時間以上

授業の到達目標及びテーマ

人間の手と器具の働き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる
コーム、ヘアブラシ、レザー及びヘアアイロンについて、その種類、各部の名称、使用目的
形態と機能、選定法、研磨法、基本的操作法、手入れ法などを学ぶ

講義概要

美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣とを養い、工夫と創造の能力とを身に付けさせる
美容器具の正しい取扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させる
優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	美容技術理論を学ぶにあたって 美容技術 作業姿勢 人体名称
2	美容用具 美容技術における用具 コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー ヘアスチーマー、遠赤外線機
3	シャンプーイング シャンプーイング総論、サイドシャンプー、バックシャンプー、リンス・コンディショナー・トリートメント・スキャルプトリートメント、ヘッドスパ
4	ヘアデザイン 美容とデザイン
5	ヘアカッティング シザーズとレザーの扱い方、美容刃物、ブロッキング、ヘアカッティング理論、ベーシックなカット技法、シザーズによる技法 レザーによるカット技法
6	パーマメントウエービング パーマメントウェーブ(歴史、現在、理論) パーマ剤(分類、注意事項) パーマメントウェーブ技術、ワインディングバリエーション、縮毛強制
7	ヘアセッティング ヘアセッティングとは、ヘアパーティング、ヘアシェービング、ヘアカーリング、ヘアウエービング、ブロードドライ、アイロンセッティング、バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピース
8	ヘアカラーリング ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類、ヘアカラーのタイプ別特徴、染毛のメカニズム、色の基本 毛髪のレベルとアンダートーン、パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具、酸化染毛剤の技術手順 酸性染毛料の技術手順、ヘアブリーチ

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。
美容室に長年の勤務経験があり、技能知識共に優秀な教員である。当校でも長年のキャリアを積んでベテランといえる存在である。
長年の教員経験から、理解を深める事、徹底させることに秀でている。

授業のICT化に対し先頭に立ち、教材のデジタル化、技術のデジタル化を進んで行っている

経験則からくる技術と知識、ICTなどの新しい技術を持ったハイブリットな教員である。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容技術理論	山城 明子	5単位	150時間以上

授業の到達目標及びテーマ

人間の手と器具の働き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる
コーム、ヘアブラシ、レザー及びヘアアイロンについて、その種類、各部の名称、使用目的
形態と機能、選定法、研磨法、基本的操作法、手入れ法などを学ぶ

講義概要

美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣とを養い、工夫と創造の能力とを身に付けさせる
美容器具の正しい取扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させる
優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調すること。

回 授業計画及び学習の内容

1	美容技術理論を学ぶにあたって 美容技術 作業姿勢 人体名称
2	美容用具 美容技術における用具 コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー ヘアスチーマー、遠赤外線機
3	シャンプーイング シャンプーイング総論、サイドシャンプー、バックシャンプー、リンス・コンディショナー・トリートメント・スキャルプトリートメント、ヘッドスパ
4	ヘアデザイン 美容とデザイン
5	ヘアカッティング シザーズとレザーの扱い方、美容刃物、ブロッキング、ヘアカッティング理論、ベーシックなカット技法、シザーズによる技法 レザーによるカット技法
6	パーマメントウエービング パーマメントウェーブ(歴史、現在、理論) パーマ剤(分類、注意事項) パーマメントウェーブ技術、ワインディングバリエーション、縮毛強制
7	ヘアセッティング ヘアセッティングとは、ヘアパーティング、ヘアシェービング、ヘアカーリング、ヘアウエービング、ブロードライ、アイロンセッティング、バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピース
8	ヘアカラーリング ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類、ヘアカラーのタイプ別特徴、染毛のメカニズム、色の基本 毛髪のレベルとアンダートーン、パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具、酸化染毛剤の技術手順 酸性染毛料の技術手順、ヘアブリーチ

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。
美容業界に長年勤務し、その後2019年に当校の教員となり現在まで従事している。
講師としてのキャリアも豊富であり、培われた国家試験のノウハウを駆使し授業を行っている。
学校のICT化の担当でもあり、技術を動画として残し、学校の未来のために奮闘する教員である。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	○前期○後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	運営管理	山城 一史	1単位	30時間以上

授業の到達目標及びテーマ

経営戦略の基本的理論について、美容業における実例を交えて理解させる
社会生活におけるエチケットの必要性、職場など社会生活の各部面におけるエチケットなどについて理解させる
美容業における接客の意義と技術について具体的事例を挙げながら学ばせる

講義概要

経営管理の基本的事項を学習することによって、美容業における科学的な経営管理手法の重要性を認識させ、美容所の経営に役立たせること
美容業において、適切な接客態度がいかに重要であるかを自覚させるとともに、消費者対応の基本を学ばせ、実践する能力を身に付けさせること

回	授業計画及び学習の内容
---	-------------

1	経営とは・経営者とは 経営が必要とされる理由
2	経営とは・経営者とは 継続が難しい理由=経営が必要な理由
3	経営とは・経営者とは 経営とは何か
4	経営とは・経営者とは 経営資源と経営計画
5	経営とは・経営者とは 経営戦略
6	経営とは・経営者とは 経営戦略が目指すもの、顧客に選ばれるよい店の実現
7	理容業・美容業の経営について 業界の概要
8	理容業・美容業の経営について 競争の変化
9	理容業・美容業の経営について サービスとして理容・美容
10	理容業・美容業の経営について 理容業・美容業の顧客について
11	資金と管理 資金管理の重要性
12	資金と管理 収支と損益 会計の考え方 コストを管理する 税金について
13	人という資源 人という資源とは 人の能力を高める 人をやる気にさせるために
14	人という資源 給与 待遇・福利厚生 労働者の権利
15	健康・安全な職場環境の実現 健康管理の基礎
16	健康・安全な職場環境の実現 理容・美容の仕事と健康
17	健康・安全な職場環境の実現 理容業・美容業に特徴的な健康課題
18	健康・安全な職場環境の実現 理容・美容の仕事と健康美容の作業環境に関する健康問題
19	従業員としての視点から 社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任
20	従業員としての視点から 社会保険～公的年金～ ～医療保険～ ～労働保険～
21	従業員としての視点から キャリアプランの重要性
22	従業員としての視点から 仕事をするうえで考えるべきこと
23	サービスデザイン 顧客が求める価値 価値の実態 顧客満足の実現のためのシステム 最も重要な価値:人
24	サービスデザイン 価値の多様性 顧客が求めるもの サービスの範囲 理容業・美容業のマーケティング
25	マーケティング マーケティング・ミックス
26	マーケティング マーケティング・ミックスの要因 短期的要因① 短期的要因② 長期的要因① 長期的要因② サービスのシステム化
27	サービスにおける人の役割 接客についての理解、よい接客のために
28	サービスにおける人の役割 接客の実践①②③④⑤
29	サービスにおける人の役割 接客におけるトラブルと対応、接客で発生が予想される問題
30	サービスにおける人の役割 問題を深刻化させないための対策・対処

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。
美容室に長年の勤務経験があり、技能知識共に優秀な教員である。当校でも長年のキャリアを積んでベテランといえる存在である。
長年の教員経験から、理解を深める事、徹底させることに秀でている。

授業のICT化に対し先頭に立ち、教材のデジタル化、技術のデジタル化を進んで行っている

経験則からくる技術と知識、ICTなどの新しい技術を持ったハイブリットな教員である。

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	前期	後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容実習	羽根田 祐弥	30単位	900時間以上

授業の到達目標及びテーマ

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせ、理解することにより、美容師国家試験に合格すること。

・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。

回	授業計画及び学習の内容
1	ワインディング基礎技術
2	ブロッキング技術
3	上巻き
4	下巻き
5	全体構成
6	タイム計測
7	セット技術
8	カーラー・ホットカラー
9	編み込テクニック
10	シニヨン
11	トップシニヨン
12	ネーブシニヨン
13	ロールシニヨン
14	ワンロール
15	夜会巻き
16	抱き合わせ
17	アイロンテクニック
18	ブライダルヘアテクニック
19	シャンプー・ブロー技術
20	サイドシャンプー
21	バックシャンプー
22	ブローテクニック
23	ハンドブローテクニック
24	スタイリング剤の使い方
25	ヘアカラーリング基礎技術
26	ファッションカラー(ワンタッチ・リタッチ技術)
27	グレイヘア(リタッチ技術)
28	酸性カラー
29	ヘアカラーリング応用技術(ブリーチ・ウィービング・メッシュテクニック他)
30	パーマントウェーブ基礎技術(デザイン巻きテクニック)
31	パーマントウェーブ応用技術
32	ヘアカッティング技術(ワンレングス・グラデーション・レイヤーカット)
33	国家試験第1課題(レイヤーカッティング)
34	国家試験第2課題(オールウェーブセッティング・ワインディング)
35	国家試験対策授業

成績評価方法

期末試験100点満点として採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

基礎技術から応用技術まで、実技理論に基づきモデルウィッグを使ってのトレーニングを行い、相モデル形式での実践トレーニングなど適宜取り入れる。

美容室に長年勤務し、その後平成18年に当校の教員となり、平成19年に美容技術理論の資格を取得する。

今までの経験からくる美容の知識や、現在まで培われた国家試験のノウハウを駆使し授業が行われ

国家試験でも多くの学生を合格に導いている。

2023年度からは教務主任に就任し学校全体を支援するようになる

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	前期	後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容実習	菅野 絵理	30単位	900時間以上

授業の到達目標及びテーマ

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせ、理解することにより、美容師国家試験に合格すること。

・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。

回	授業計画及び学習の内容
1	ワインディング基礎技術
2	ブロッキング技術
3	上巻き
4	下巻き
5	全体構成
6	タイム計測
7	セット技術
8	カーラー・ホットカラー
9	編み込テクニック
10	シニヨン
11	トップシニヨン
12	ネーブシニヨン
13	ロールシニヨン
14	ワンロール
15	夜会巻き
16	抱き合わせ
17	アイロンテクニック
18	ブライダルヘアテクニック
19	シャンプー・ブロー技術
20	サイドシャンプー
21	バックシャンプー
22	ブローテクニック
23	ハンドブローテクニック
24	スタイリング剤の使い方
25	ヘアカラーリング基礎技術
26	ファッションカラー(ワンタッチ・リタッチ技術)
27	グレイヘア(リタッチ技術)
28	酸性カラー
29	ヘアカラーリング応用技術(ブリーチ・ウィービング・メッシュテクニック他)
30	パーマントウェーブ基礎技術(デザイン巻きテクニック)
31	パーマントウェーブ応用技術
32	ヘアカッティング技術(ワンレングス・グラデーション・レイヤーカット)
33	国家試験第1課題(レイヤーカッティング)
34	国家試験第2課題(オールウェーブセッティング・ワインディング)
35	国家試験対策授業

成績評価方法

期末試験100点満点として採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

基礎技術から応用技術まで、実技理論に基づきモデルウィッグを使ってのトレーニングを行い、相モデル形式での実践トレーニングなど適宜取り入れる。

2023年6月より当校の教員となり現在まで従事している。実直な人柄で学生からの信頼も厚い。
新しい知識SNSなどの活用も明るく、新しい価値観を持った教員である。だからと言ってひけらかす事はない。
これからの新しい学校を作っていく教員である。

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	前期	後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容実習	山城 明子	30単位	900時間以上

授業の到達目標及びテーマ

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせ、理解することにより、美容師国家試験に合格すること。

・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。

回	授業計画及び学習の内容
1	ワインディング基礎技術
2	ブロッキング技術
3	上巻き
4	下巻き
5	全体構成
6	タイム計測
7	セット技術
8	カーラー・ホットカラー
9	編み込テクニック
10	シニヨン
11	トップシニヨン
12	ネーブシニヨン
13	ロールシニヨン
14	ワンロール
15	夜会巻き
16	抱き合わせ
17	アイロンテクニック
18	ブライダルヘアテクニック
19	シャンプー・ブロー技術
20	サイドシャンプー
21	バックシャンプー
22	ブローテクニック
23	ハンドブローテクニック
24	スタイリング剤の使い方
25	ヘアカラーリング基礎技術
26	ファッションカラー(ワンタッチ・リタッチ技術)
27	グレイヘア(リタッチ技術)
28	酸性カラー
29	ヘアカラーリング応用技術(ブリーチ・ウィービング・メッシュテクニック他)
30	パーマントウェーブ基礎技術(デザイン巻きテクニック)
31	パーマントウェーブ応用技術
32	ヘアカッティング技術(ワンレングス・グラデーション・レイヤーカット)
33	国家試験第1課題(レイヤーカッティング)
34	国家試験第2課題(オールウェーブセッティング・ワインディング)
35	国家試験対策授業

成績評価方法

期末試験100点満点として採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

基礎技術から応用技術まで、実技理論に基づきモデルウィッグを使ってのトレーニングを行い、相モデル形式での実践トレーニングなど適宜取り入れる。

美容業界に長年勤務し、その後2019年に当校の教員となり現在まで従事している。

講師としてのキャリアも豊富であり、培われた国家試験のノウハウを駆使し授業を行っている。

学校のICT化の担当でもあり、技術を動画として残し、学校の未来のために奮闘する教員である。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	前期	後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容実習	山城 一史	30単位	900時間以上

授業の到達目標及びテーマ
美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせ、理解することにより、美容師国家試験に合格すること。
・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要
美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた美容技術を提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。

回	授業計画及び学習の内容
1	ワインディング基礎技術
2	ブロッキング技術
3	上巻き
4	下巻き
5	全体構成
6	タイム計測
7	セット技術
8	カーラー・ホットカーラー
9	編み込テクニック
10	シニヨン
11	トップシニヨン
12	ネーブシニヨン
13	ロールシニヨン
14	ワンロール
15	夜会巻き
16	抱き合わせ
17	アイロンテクニック
18	ブライダルヘアテクニック
19	シャンプー・ブロー技術
20	サイドシャンプー
21	バックシャンプー
22	ブローテクニック
23	ハンドブローテクニック
24	スタイリング剤の使い方
25	ヘアカラーリング基礎技術
26	ファッションカラー(ワンタッチ・リタッチ技術)
27	グレイヘア(リタッチ技術)
28	酸性カラー
29	ヘアカラーリング応用技術(ブリーチ・ウィービング・メッシュテクニック他)
30	パーマネットウェーブ基礎技術(デザイン巻きテクニック)
31	パーマネットウェーブ応用技術
32	ヘアカッティング技術(ワンレングス・グラデーション・レイヤーカット)
33	国家試験第1課題(レイヤーカッティング)
34	国家試験第2課題(オールウェーブセッティング・ワインディング)
35	国家試験対策授業

成績評価方法
期末試験100点満点として採点する。授業態度の総合評価 出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介
基礎技術から応用技術まで、実技理論に基づきモデルウィッグを使つてのトレーニングを行い、相モデル形式での実践トレーニングなど適宜取り入れる。
美容室に長年の勤務経験があり、技能知識共に優秀な教員である。当校でも長年のキャリアを積んでベテランといえる存在である。
長年の教員経験から、理解を深める事、徹底させることに秀でている。
授業のICT化に対し先頭に立ち、教材のデジタル化、技術のデジタル化を進んで行っている 経験則からくる技術と知識、ICTなどの新しい技術を持ったハイブリットな教員である。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	一般教養	後藤 由歌	1単位	30時間以上

授業の到達目標及びテーマ
必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせる 高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付ける

講義概要
一般教養課目は、社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことによって、 社会人としての心構えを養い、さらに、専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術、文化など幅広い教養を身に付けることによって、 人間性豊かな人格の形成を目指すものであること。

回	授業計画及び学習の内容
1	コンプライアンス研修
2	保険関連授業
3	マナー講習
4	ティーチン(芸術、文化)
5	ファッション授業
6	パーソナルカラー
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	

成績評価方法
期末試験100点満点または作品提出で採点する。授業態度の総合評価 出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介
メイクアップ: エステティック技法、ネイル技術、着付け、メイクアップ技術を、座学と技術を駆使して進めていく。 トータルビューティ: ファッション学、パーソナルカラー、ヘアデザインに対して美容実習、文化論で学んだ基礎の応用を学ぶ。 アドバンスプログラム: 専門的な技術の習得を目指す。 平成11年より当校で教員として従事、美容技術理論、美容実習、美容保健、美容文化論、美容運営管理といった多くの資格を有し 幅広い知識の持ち主である。単元別に教員の采配をし学生の感性に訴えた授業を行う。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	(前期) (後期)
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	メイクアップ	後藤 由歌	4単位	120時間以上

授業の到達目標及びテーマ

必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせる
高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付ける

講義概要

一般教養課目は、社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことによって、
社会人としての心構えを養い、さらに、専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術、文化など幅広い教養を身に付けることによって、
人間性豊かな人格の形成を目指すものであること。
専門教育課目は、必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせるものであること
科学的基礎に裏付けられた高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付けるばかりでなく、これらを応用して新たな技術を
開発するための総合的能力を習得させること。

回	授業計画及び学習の内容
1	エステティック 皮膚の生理と構造 カウンセリング マッサージ理論 フェイシャルケア技術 フェイシャル及びデコルテマッサージ
2	エステティック フェイシャルパック ボディケア技術 ボディマッサージ
3	ネイル技術 ネイル技術概論、ネイル技術の種類、詰めの構造と機能、詰めのカット形状、ネイル技術と公衆衛生
4	ネイル技術 カウンセリング、ネイルケア、アーティフィシャルネイル、手と足のマッサージ
5	メイクアップ メイクアップ概論、顔の形態学的な観察、メイクアップと色彩、皮膚の生理と構造、メイクアップの道具
6	メイクアップ スキンケア、ベースメイクアップ、アイメイクアップ、アイブロウメイクアップ
7	メイクアップ リップメイクアップ、ブラッシュオンメイクアップ、まつ毛エクステンション
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	

成績評価方法

期末試験100点満点または作品提出で採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

メイクアップ:エステティック技法、ネイル技術、着付け、メイクアップ技術を、座学と技術を駆使して進めていく。
トータルビューティ:ファッション学、パーソナルカラー、ヘアデザインに対して美容実習、文化論で学んだ基礎の応用を学ぶ。
アドバンスプログラム:専門的な技術の習得を目指す。
平成11年より当校で教員として従事、美容技術理論、美容実習、美容保健、美容文化論、美容運営管理といった多くの資格を有し
幅広い知識の持ち主である。単元別に教員の采配をし学生の感性に訴えた授業を行う。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	トータルビューティ	後藤 由歌	6単位	180時間以上

授業の到達目標及びテーマ

必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせる
高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付ける

講義概要

一般教養課目は、社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことによって、
社会人としての心構えを養い、さらに、専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術、文化など幅広い教養を身に付けることによって、
人間性豊かな人格の形成を目指すものであること。
専門教育課目は、必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせるものであること
科学的基礎に裏付けられた高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付けるばかりでなく、これらを応用して新たな技術を
開発するための総合的能力を習得させること。

回	授業計画及び学習の内容
1	日本髪 日本髪の由来、日本髪の各部の名称、日本髪の種類と特徴、日本髪と調和
2	日本髪 日本髪の装飾品、日本髪の結髪道具、日本髪の手入れ、かつら
3	着付けの理論と技術 着付けの目的、礼装、着物と季節、着物のいろいろ、帯、小物
4	着付けの理論と技術 着物各部の名称、着物のたたみ方、着付けの一般的要領
5	着付けの理論と技術 留袖着付け技術、振袖着付け技術、帯締め、帯揚げの結び方
6	着付けの理論と技術 男子礼装羽織、袴着付け技術、羽織の紐の結び方
7	着付けの理論と技術 女子袴着付け技術、婚礼着付けの注意事項
8	着付けの理論と技術 和装花嫁、洋装花嫁
9	美容モード理論 ファッション学 基礎、応用
10	美容モード理論 パーソナルカラー 基礎 応用
11	美容モード理論 ヘアデザイン
12	デザインパーマ
13	就職活動
14	接客実習
15	実務実習
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	

成績評価方法

期末試験100点満点または作品提出で採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

メイクアップ: エステティック技法、ネイル技術、着付け、メイクアップ技術を、座学と技術を駆使して進めていく。
トータルビューティ: ファッション学、パーソナルカラー、ヘアデザインに対して美容実習、文化論で学んだ基礎の応用を学ぶ。
アドバンスプログラム: 専門的な技術の習得を目指す。
平成11年より当校で教員として従事、美容技術理論、美容実習、美容保健、美容文化論、美容運営管理といった多くの資格を有し
幅広い知識の持ち主である。単元別に教員の采配をし学生の感性に訴えた授業を行う。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	アドバンスプログラム	後藤 由歌	20単位	600時間以上

授業の到達目標及びテーマ

必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせる
高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付ける

講義概要

一般教養課目は、社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことによって、
社会人としての心構えを養い、さらに、専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術、文化など幅広い教養を身に付けることによって、
人間性豊かな人格の形成を目指すものであること。
専門教育課目は、必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせるものであること
科学的基礎に裏付けられた高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付けるばかりでなく、これらを応用して新たな技術を
開発するための総合的能力を習得させること。

回	授業計画及び学習の内容
1	ヘアデザイナーコース
2	ヘッドスパ対策授業
3	デザインパーマ
4	セット授業
5	セット授業作品制作
6	ビューティデザイナーコース
7	化粧品検定対策授業
8	ビューティベーシック
9	メイクセラピー
10	英会話
11	各選択授業
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	

成績評価方法

期末試験100点満点または作品提出で採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

メイクアップ: エステティック技法、ネイル技術、着付け、メイクアップ技術を、座学と技術を駆使して進めていく。
トータルビューティ: ファッション学、パーソナルカラー、ヘアデザインに対して美容実習、文化論で学んだ基礎の応用を学ぶ。
アドバンスプログラム: 専門的な技術の習得を目指す。
平成11年より当校で教員として従事、美容技術理論、美容実習、美容保健、美容文化論、美容運営管理といった多くの資格を有し
幅広い知識の持ち主である。単元別に教員の采配をし学生の感性に訴えた授業を行う。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間30期(2026年度2027年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	アドバンスプログラム	後藤 由歌	20単位	711時間

授業の到達目標及びテーマ
必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせる 高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付ける

講義概要
一般教養課目は、社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことによって、 社会人としての心構えを養い、さらに、専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術、文化など幅広い教養を身に付けることによって、 人間性豊かな人格の形成を目指すものであること。 専門教育課目は、必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせるものであること 科学的基礎に裏付けられた高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付けるばかりでなく、これらを応用して新たな技術を 開発するための総合的能力を習得させること。

回	授業計画及び学習の内容
1	エステティック 皮膚の生理と構造 カウンセリング マッサージ理論 フェイシャルケア技術 フェイシャル及びデコルテマッサージ
2	エステティック フェイシャルパック ボディケア技術 ボディマッサージ
3	ネイル技術 ネイル技術概論、ネイル技術の種類、詰めの構造と機能、詰めのカット形状、ネイル技術と公衆衛生
4	ネイル技術 カウンセリング、ネイルケア、アーティフィシャルネイル、手と足のマッサージ
5	メイクアップ メイクアップ概論、顔の形態学的な観察、メイクアップと色彩、皮膚の生理と構造、メイクアップの道具
6	メイクアップ スキンケア、ベースメイクアップ、アイメイクアップ、アイブロウメイクアップ
7	メイクアップ リップメイクアップ、ブラッシュオンメイクアップ、まつ毛エクステンション
8	日本髪 日本髪の由来、日本髪の各部の名称、日本髪の種類と特徴、日本髪と調和
9	日本髪 日本髪の装飾品、日本髪の結髪道具、日本髪の手入れ、かつら
10	着付けの理論と技術 着付けの目的、礼装、着物と季節、着物のいろいろ、帯、小物
11	着付けの理論と技術 着物各部の名称、着物のたたみ方、着付けの一般的要領
12	着付けの理論と技術 留袖着付け技術、振袖着付け技術、帯締め、帯揚げの結び方
13	着付けの理論と技術 男子礼装羽織、袴着付け技術、羽織の紐の結び方
14	着付けの理論と技術 女子袴着付け技術、婚礼着付けの注意事項
15	着付けの理論と技術 和装花嫁、洋装花嫁
16	美容モード理論 ファッション学 基礎、応用
17	美容モード理論 パーソナルカラー 基礎 応用
18	美容モード理論 ヘアデザイン
19	化粧品検定、ビューティベーシック、メイクセラピー、英会話
20	ヘッドスパ、デザインパーマ、セット、作品作成
21	一般教養
22	
23	

成績評価方法
期末試験100点満点または作品提出で採点する。授業態度の総合評価 出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介
メイクアップ:エステティック技法、ネイル技術、着付け、メイクアップ技術を、座学と技術を駆使して進めていく。 トータルビューティ:ファッション学、パーソナルカラー、ヘアデザインに対して美容実習、文化論で学んだ基礎の応用を学ぶ。 アドバンスプログラム:専門的な技術の習得を目指す。 平成11年より当校で教員として従事、美容技術理論、美容実習、美容保健、美容文化論、美容運営管理といった多くの資格を有し 幅広い知識の持ち主である。単元別に教員の采配をし学生の感性に訴えた授業を行う。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2026年度)	1年2年	前期後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	関係法規・制度	渡辺 演久	1単位	30時間以上
授業の到達目標及びテーマ				
美容師になるために必要な法知識・法制度を修得するための講義を行う。とくに後期にあたっては、美容師試験合格を目指して、問題演習を数多く行う。				
講義概要				
社会生活における法の役割・衛生法規概説・衛生行政概説・衛生行政の種類と衛生行政機関・美容師法(美容師法の目的・美容師法の付属法令・美容師法の運用にあたる行政機関・用語の定義・美容師に関する事項・養成施設・美容師試験・美容師免許・管理美容師・美容師の義務)施設に関する規定(美容所、開設者が講ずべき衛生措置、美容所以外での業務)、立入検査と環境衛生監視員、違反者に対する行政処分(業務停止、免許取消、閉鎖)、罰則、関連法規、国家試験対策演習				
回	授業計画及び学習の内容			
1	社会生活において法が果たす役割			
2	衛生法規と衛生行政(保健所)について			
3	美容師法の体系と用語について			
4	美容師試験の内容及び免許に関する規定について			
5	名簿の訂正、書き換え交付、再交付、返納、提出等について			
6	管理美容師の職務・資格について			
7	美容所の開設手続と地位の承継について			
8	開設者に課せられた衛生措置について			
9	特別の事情、立入検査の目的			
10	行政処分の要件、罰則の要件、審査請求など			
11	運営、衛生、消費者保護に関する法律について			
12	国家試験対策			
成績評価方法				
期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。 出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事				
授業の特徴・形式と教員紹介				
講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。 明治大学法律学科を卒業後、大学や専門学校で法律の講師として従事し現在に至る。 長い講師経験からくる授業はとても専門的であり、わかりやすい。				

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	衛生管理	広瀬 徹	3単位	90時間以上

授業の到達目標及びテーマ

美容上必要な衛生管理について理解することにより、美容師国家試験に合格すること。
・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要

公衆衛生の意義と本質とを明らかにすること
美容師が公衆衛生の維持と増進とについて重大な責務を担わなければならない
特に、環境衛生の意義と目的について、美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させる

回	授業計画及び学習の内容
---	-------------

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | 公衆衛生 公衆衛生の意義と課題 |
| 2 | 公衆衛生 公衆衛生の発展の歴史 |
| 3 | 公衆衛生 理容師・美容師と公衆衛生 |
| 4 | 保険 母子、成人、高齢者、精神保健 |
| 5 | 環境衛生 環境衛生の概要 |
| 6 | 環境衛生 空気環境 |
| 7 | 環境衛生 衣服・住居の衛生 |
| 8 | 環境衛生 上下水道と廃棄物 |
| 9 | 環境衛生 衛生害虫とネズミ |
| 10 | 環境衛生 環境保全 |
| 11 | 感染症の総論 人と感染症 |
| 12 | 感染症の総論 病原微生物 |
| 13 | 感染症の総論 感染症の予防 |
| 14 | 感染症の各論 理容・美容と感染症 |
| 15 | 感染症の各論 主な感染症 |
| 16 | 感染症の各論 具体的な対策の例 |
| 17 | 消毒法総論 消毒とは |
| 18 | 消毒法総論 消毒の意義 |
| 19 | 消毒法総論 理容・美容の義務と消毒との関係 |
| 20 | 消毒法総論 消毒法と適用上の注意 |
| 21 | 消毒法各論 理学的消毒法(殺菌法) |
| 22 | 消毒法各論 科学的消毒法(殺菌法) |
| 23 | 消毒法各論 すぐれた消毒法とその実施上の注意 |
| 24 | 消毒法実習 各種消毒薬 |
| 25 | 消毒法実習 理容所の消毒の実際 |
| 26 | 消毒法実習 理容所・美容所の清潔法の実際 |
| 27 | 理容所及び美容所における衛生管理要領 第1目的～第4衛生的取扱い等 |
| 28 | 理容所及び美容所における衛生管理要領 第5消毒～第6自主管理体制 |
| 29 | 理・美容所の自主管理点検票 |

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。
獣医師免許の資格を有しており、その知識を生かした授業を展開する。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	保健	村松 明子	3単位	90時間以上

授業の到達目標及びテーマ
美容師として必要な「人体の構造と機能、皮膚科学」に関する基礎を学習する。人体の生理解剖や皮膚・毛髪などの構造・生理機能の基礎を学ぶ。

講義概要
美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする美容の業務を安全かつ効果的に行うためには、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識が不可欠であることを理解させる

回	授業計画 及び学習の内容	
1	人体の構造及び機能	頭部、顔部、頸部、体表解剖学
2	人体の構造及び機能	骨角器系
3	人体の構造及び機能	筋系
4	人体の構造及び機能	神経系
5	人体の構造及び機能	感覚器系
6	人体の構造及び機能	血液・循環器系
7	人体の構造及び機能	呼吸器系
8	人体の構造及び機能	消化器系
9	皮膚科学	皮膚の構造
10	皮膚科学	皮膚付属器官の構造
11	皮膚科学	皮膚の循環器系と神経系
12	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の生理機能
13	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の保健
14	皮膚科学	皮膚と皮膚付属器官の疾患
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		

成績評価方法
期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。 出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介
講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。 看護師としての長年のキャリアがあり知識は豊富である。授業の展開にもたけており、学生が興味を持ちそうなことを授業に盛り込み、学生の授業理解を深めている。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	香粧品化学	堤 弘行	2単位	60時間以上

授業の到達目標及びテーマ

香粧品の原料や配合、性状、使用目的などについて理解させる。□
さらに香粧品の社会的意義や法的な根拠、製品の安全性に関する知識を深めさせる。
最終目標である国家試験合格に向け、問題解法の応用力を習得させる。

講義概要

香粧品の社会的意義と法規制、および香粧品の安定性と安全性に関して概説する。
香粧品原料(水性原料、油性原料、界面活性剤、高分子化合物、色材、香料etc)について解説する。□
香粧品の各製品形態(基礎化粧品、メイクアップ製品、頭髮化粧品、フレグランス製品、その他)ごとの特徴や配合成分を解説する。□

回	授業計画及び学習の内容	
1	香粧品概論	香粧品の社会的意義と品質特性
2	香粧品概論	香粧品の規則
3	香粧品概論	香粧品の安定性と取扱い上の注意
4	香粧品概論	香粧品と安全性
5	香粧品用原料	香粧品の対象となる人体各部の性状
6	香粧品用原料	水性原料
7	香粧品用原料	油性原料
8	香粧品用原料	界面活性剤
9	香粧品用原料	高分子化合物
10	香粧品用原料	色材
11	香粧品用原料	香料
12	香粧品用原料	その他の配合成分
13	香粧品用原料	ネイル、まつ毛エクステンション用材料
14	基礎化粧品	皮膚清掃用香粧品
15	基礎化粧品	化粧水
16	基礎化粧品	クリーム乳液
17	基礎化粧品	その他の基礎香粧品
18	メイクアップ用香粧品	メイクアップ用香粧品の種類と剤形
19	メイクアップ用香粧品	ベースメイクアップ香粧品
20	メイクアップ用香粧品	ポイントメイクアップ香粧品
21	頭皮・毛髪用香粧品	シャンプー剤
22	頭皮・毛髪用香粧品	スタイリング剤
23	頭皮・毛髪用香粧品	パーマ剤
24	頭皮・毛髪用香粧品	ヘアカラー製品
25	頭皮・毛髪用香粧品	育毛剤
26	芳香製品と特殊香粧品	芳香製品
27	芳香製品と特殊香粧品	特殊香粧品
28	香粧品化学を理解するための基礎化学	
29		

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。

理化学研究科を修了し、その後株式会社コーセーで化粧品に関わる業務に30年従事
そこから培われた知識を元に授業を展開する。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	1年2年	Ⓐ前期Ⓑ後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	文化論	大浦 千恵	2単位	60時間以上

授業の到達目標及びテーマ

我が国における美容ファッションの変遷について学ぶ。造形の原理、造形と心理、美容における造形の意義
色彩の原理、色彩と心理、美容における色彩を学ぶ。
服飾の原理、美容における服飾の意義などについて理解させる

講義概要

美容業の使命の一人が、より優れた人間美の創造、実現にあることをよく認識させ、この使命の達成のために必要な美的感覚を身に付ける
これを洗練し、芸術的な表現力と鑑賞力とを養う
美容の業務を全うするためには、確かな技術力を身に付けるとともに、豊かな感性に裏打ちされた優れた表現力を養うことが必要である

回	授業計画及び学習の内容
1	総論
2	日本の理容業・美容業の歴史 理容業・美容業の発生 江戸時代の理容業・美容業 近代の理容業・美容業 現代の理容業・美容業
3	ファッション文化史日本編 縄文、弥生、古墳時代 古代、中世、近世、近代、現代
4	ファッション文化史西洋編 近世、近代、現代
5	礼装の種類 和装、洋装の礼装
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。

美容業界に長年勤務し、その後2019年に当校の教員となり現在まで従事している。

講師としてのキャリアも豊富であり、培われた国家試験のノウハウを駆使し授業を行っている。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容技術理論	牛木 巧	5単位	150時間以上

授業の到達目標及びテーマ

人間の手と器具の働き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる
コーム、ヘアブラシ、レザー及びヘアアイロンについて、その種類、各部の名称、使用目的
形態と機能、選定法、研磨法、基本的操作法、手入れ法などを学ぶ

講義概要

美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣とを養い、工夫と創造の能力とを身に付けさせる
美容器具の正しい取扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させる
優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調すること。

回 授業計画及び学習の内容

1	美容技術理論を学ぶにあたって 美容技術 作業姿勢 人体名称
2	美容用具 美容技術における用具 コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー ヘアスチーマー、遠赤外線機
3	シャンプーイング シャンプーイング総論、サイドシャンプー、バックシャンプー、リンス・コンディショナー・トリートメント・スキャルプトリートメント、ヘッドスパ
4	ヘアデザイン 美容とデザイン
5	ヘアカッティング シザーズとレザーの扱い方、美容刃物、ブロッキング、ヘアカッティング理論、ベーシックなカット技法、シザーズによる技法 レザーによるカット技法
6	パーマメントウエービング パーマメントウェーブ(歴史、現在、理論) パーマ剤(分類、注意事項) パーマメントウェーブ技術、ワインディングバリエーション、縮毛強制
7	ヘアセッティング ヘアセッティングとは、ヘアパーティング、ヘアシェービング、ヘアカーリング、ヘアウエービング、ブロードライ、アイロンセッティング、バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピース
8	ヘアカラーリング ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類、ヘアカラーのタイプ別特徴、染毛のメカニズム、色の基本 毛髪のレベルとアンダートーン、パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具、酸化染毛剤の技術手順 酸性染毛料の技術手順、ヘアブリーチ

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。
美容室に長年勤務し、その後平成18年に当校の教員となり、平成19年に美容技術論の資格を取得する。
今までの経験からくる美容の知識や、現在まで培われた国家試験のノウハウを駆使し授業が行われ
国家試験でも多くの学生を合格に導いている。
学校のムードメーカーでもあり学生からの信頼も厚い

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容技術理論	大浦 千恵	5単位	150時間以上

授業の到達目標及びテーマ

人間の手と器具の働き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる
コーム、ヘアブラシ、レザー及びヘアアイロンについて、その種類、各部の名称、使用目的
形態と機能、選定法、研磨法、基本的操作法、手入れ法などを学ぶ

講義概要

美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣とを養い、工夫と創造の能力とを身に付けさせる
美容器具の正しい取扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させる
優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	美容技術理論を学ぶにあたって 美容技術 作業姿勢 人体名称
2	美容用具 美容技術における用具 コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー ヘアスチーマー、遠赤外線機
3	シャンプーイング シャンプーイング総論、サイドシャンプー、バックシャンプー、リンス・コンディショナー・トリートメント・スキャルプトリートメント、ヘッドスパ
4	ヘアデザイン 美容とデザイン
5	ヘアカッティング シザーズとレザーの扱い方、美容刃物、ブロッキング、ヘアカッティング理論、ベーシックなカット技法、シザーズによる技法 レザーによるカット技法
6	パーマメントウエービング パーマメントウェーブ(歴史、現在、理論) パーマ剤(分類、注意事項) パーマメントウェーブ技術、ワインディングバリエーション、縮毛強制
7	ヘアセッティング ヘアセッティングとは、ヘアパーティング、ヘアシェービング、ヘアカーリング、ヘアウエービング、ブロードライ、アイロンセッティング、バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピース
8	ヘアカラーリング ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類、ヘアカラーのタイプ別特徴、染毛のメカニズム、色の基本 毛髪のレベルとアンダートーン、パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具、酸化染毛剤の技術手順 酸性染毛料の技術手順、ヘアブリーチ

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。
美容業界に長年勤務し、その後2019年に当校の教員となり現在まで従事している。
講師としてのキャリアも豊富であり、培われた国家試験のノウハウを駆使し授業を行っている。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	1年2年	（前期）（後期）
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容技術理論	露久保修子	5単位	150時間以上

授業の到達目標及びテーマ

人間の手と器具の働き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる
コーム、ヘアブラシ、レザー及びヘアアイロンについて、その種類、各部の名称、使用目的
形態と機能、選定法、研磨法、基本的操作法、手入れ法などを学ぶ

講義概要

美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣とを養い、工夫と創造の能力とを身に付けさせる
美容器具の正しい取扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させる
優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	美容技術理論を学ぶにあたって 美容技術 作業姿勢 人体名称
2	美容用具 美容技術における用具 コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー ヘアスチーマー、遠赤外線機
3	シャンプーイング シャンプーイング総論、サイドシャンプー、バックシャンプー、リンス・コンディショナー・トリートメント・スキャルプトリートメント、ヘッドスパ
4	ヘアデザイン 美容とデザイン
5	ヘアカッティング シザーズとレザーの扱い方、美容刃物、ブロッキング、ヘアカッティング理論、ベーシックなカット技法、シザーズによる技法 レザーによるカット技法
6	パーマメントウエービング パーマメントウェーブ(歴史、現在、理論) パーマ剤(分類、注意事項) パーマメントウェーブ技術、ワインディングバリエーション、縮毛強制
7	ヘアセッティング ヘアセッティングとは、ヘアパーティング、ヘアシェービング、ヘアカーリング、ヘアウエービング、ブロードドライ、アイロンセッティング、バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピース
8	ヘアカラーリング ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類、ヘアカラーのタイプ別特徴、染毛のメカニズム、色の基本 毛髪のレベルとアンダートーン、パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具、酸化染毛剤の技術手順 酸性染毛料の技術手順、ヘアブリーチ

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。
令和5年度より当校に就任し、教員として学校運営および学生指導に貢献している。
地道で努力を惜しまない姿勢で着実に知識を深め、令和7年度には美容理論および美容実習の資格を取得した。
習得した知識・技術を学生指導へ還元し、教育内容の充実と学生育成に努めている。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	1年2年	前期後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容技術理論	高田 実里	5単位	165時間

授業の到達目標及びテーマ

人間の手と器具の働き、美容器具の種類と特徴などについて理解させる
コーム、ヘアブラシ、レザー及びヘアアイロンについて、その種類、各部の名称、使用目的
形態と機能、選定法、研磨法、基本的操作法、手入れ法などを学ぶ

講義概要

美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣とを養い、工夫と創造の能力とを身に付けさせる
美容器具の正しい取扱いの方法と美容の基礎的技術とを作業の実際に即して指導し習熟させる
優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調すること。

回	授業計画及び学習の内容
1	美容技術理論を学ぶにあたって 美容技術 作業姿勢 人体名称
2	美容用具 美容技術における用具 コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー ヘアスチーマー、遠赤外線機
3	シャンプーイング シャンプーイング総論、サイドシャンプー、バックシャンプー、リンス・コンディショナー・トリートメント・スキャルプトリートメント、ヘッドスパ
4	ヘアデザイン 美容とデザイン
5	ヘアカッティング シザーズとレザーの扱い方、美容刃物、ブロッキング、ヘアカッティング理論、ベーシックなカット技法、シザーズによる技法 レザーによるカット技法
6	パーマメントウエービング パーマメントウェーブ(歴史、現在、理論) パーマ剤(分類、注意事項) パーマメントウェーブ技術、ワインディングバリエーション、縮毛強制
7	ヘアセッティング ヘアセッティングとは、ヘアパーティング、ヘアシェービング、ヘアカーリング、ヘアウエービング、ブロードライ、アイロンセッティング、バックコーミング、アップスタイル、ウィッグとヘアピース
8	ヘアカラーリング ヘアカラーリング概論、ヘアカラーの種類、ヘアカラーのタイプ別特徴、染毛のメカニズム、色の基本 毛髪のレベルとアンダートーン、パッチテスト、染毛剤使用時の注意事項、ヘアカラーリングの道具、酸化染毛剤の技術手順 酸性染毛料の技術手順、ヘアブリーチ

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。
平成29年から当校に就任し教員として当校に貢献をする。
就任した平成30年に日本理容美容教育センターによる美容理論の教員資格研修を受講し資格を取得する。
常に知識を磨き学生からの信頼も厚い。授業も学生理解を主とし展開され分かりやすい授業だ

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	1年2年	○前期○後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	運営管理	牛木 巧	1単位	30時間以上

授業の到達目標及びテーマ

経営戦略の基本的理論について、美容業における実例を交えて理解させる
社会生活におけるエチケットの必要性、職場など社会生活の各部面におけるエチケットなどについて理解させる
美容業における接客の意義と技術について具体的事例を挙げながら学ばせる

講義概要

経営管理の基本的事項を学習することによって、美容業における科学的な経営管理手法の重要性を認識させ、美容所の経営に役立たせること
美容業において、適切な接客態度がいかに重要であるかを自覚させるとともに、消費者対応の基本を学ばせ、実践する能力を身に付けさせること

回	授業計画及び学習の内容
1	経営とは・経営者とは 経営が必要とされる理由
2	経営とは・経営者とは 継続が難しい理由=経営が必要な理由
3	経営とは・経営者とは 経営とは何か
4	経営とは・経営者とは 経営資源と経営計画
5	経営とは・経営者とは 経営戦略
6	経営とは・経営者とは 経営戦略が目指すもの、顧客に選ばれるよい店の実現
7	理容業・美容業の経営について 業界の概要
8	理容業・美容業の経営について 競争の変化
9	理容業・美容業の経営について サービスとして理容・美容
10	理容業・美容業の経営について 理容業・美容業の顧客について
11	資金と管理 資金管理の重要性
12	資金と管理 収支と損益 会計の考え方 コストを管理する 税金について
13	人という資源 人という資源とは 人の能力を高める 人をやる気にさせるために
14	人という資源 給与 待遇・福利厚生 労働者の権利
15	健康・安全な職場環境の実現 健康管理の基礎
16	健康・安全な職場環境の実現 理容・美容の仕事と健康
17	健康・安全な職場環境の実現 理容業・美容業に特徴的な健康課題
18	健康・安全な職場環境の実現 理容・美容の仕事と健康美容の作業環境に関する健康問題
19	従業員としての視点から 社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任
20	従業員としての視点から 社会保険～公的年金～ ～医療保険～ ～労働保険～
21	従業員としての視点から キャリアプランの重要性
22	従業員としての視点から 仕事をするうえで考えるべきこと
23	サービスデザイン 顧客が求める価値 価値の実態 顧客満足の実現のためのシステム 最も重要な価値：人
24	サービスデザイン 価値の多様性 顧客が求めるもの サービスの範囲 理容業・美容業のマーケティング
25	マーケティング マーケティング・ミックス
26	マーケティング マーケティング・ミックスの要因 短期的要因① 短期的要因② 長期的要因① 長期的要因② サービスのシステム化
27	サービスにおける人の役割 接客についての理解、よい接客のために
28	サービスにおける人の役割 接客の実践①②③④⑤
29	サービスにおける人の役割 接客におけるトラブルと対応、接客で発生が予想される問題
30	サービスにおける人の役割 問題を深刻化させないための対策・対処

成績評価方法

期末試験100点満点として採点し、60点以下の学生は追試とする。
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。
美容室に長年勤務し、その後平成18年に当校の教員となり、令和元年に運営管理の資格を取得する。
今までの経験からくる美容の知識や、現在まで培われた国家試験のノウハウを駆使し授業が行われ
国家試験でも多くの学生を合格に導いている。
学校のムードメーカーでもあり学生からの信頼も厚い

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	前期	後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容実習	牛木 巧	30単位	900時間以上

授業の到達目標及びテーマ

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせ、理解することにより、美容師国家試験に合格すること。

・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。

回	授業計画及び学習の内容
1	ワインディング基礎技術
2	ブロッキング技術
3	上巻き
4	下巻き
5	全体構成
6	タイム計測
7	セット技術
8	カーラー・ホットカラー
9	編み込テクニック
10	シニヨン
11	トップシニヨン
12	ネーブシニヨン
13	ロールシニヨン
14	ワンロール
15	夜会巻き
16	抱き合わせ
17	アイロンテクニック
18	ブライダルヘアテクニック
19	シャンプー・ブロー技術
20	サイドシャンプー
21	バックシャンプー
22	ブローテクニック
23	ハンドブローテクニック
24	スタイリング剤の使い方
25	ヘアカラーリング基礎技術
26	ファッションカラー(ワンタッチ・リタッチ技術)
27	グレイヘア(リタッチ技術)
28	酸性カラー
29	ヘアカラーリング応用技術(ブリーチ・ウィービング・メッシュテクニック他)
30	パーマメントウェーブ基礎技術(デザイン巻きテクニック)
31	パーマメントウェーブ応用技術
32	ヘアカッティング技術(ワンレングス・グラデーション・レイヤーカット)
33	国家試験第1課題(レイヤーカッティング)
34	国家試験第2課題(オールウェーブセッティング・ワインディング)
35	国家試験対策授業

成績評価方法

期末試験100点満点として採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

基礎技術から応用技術まで、実技理論に基づきモデルウィッグを使ってのトレーニングを行い、相モデル形式での実践トレーニングなど適宜取り入れる。

美容室に長年勤務し、その後平成18年に当校の教員となる。

今までの経験からくる美容の知識や、現在まで培われた国家試験のノウハウを駆使し授業が行われ

国家試験でも多くの学生を合格に導いている。

学校のムードメーカーでもあり学生からの信頼も厚い

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	前期	後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容実習	大浦 千恵	30単位	900時間以上

授業の到達目標及びテーマ
美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせ、理解することにより、美容師国家試験に合格すること。
・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要
美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた美容技術を提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。

回	授業計画及び学習の内容
1	ワインディング基礎技術
2	ブロッキング技術
3	上巻き
4	下巻き
5	全体構成
6	タイム計測
7	セット技術
8	カーラー・ホットカラー
9	編み込テクニック
10	シニヨン
11	トップシニヨン
12	ネーブシニヨン
13	ロールシニヨン
14	ワンロール
15	夜会巻き
16	抱き合わせ
17	アイロンテクニック
18	ブライダルヘアテクニック
19	シャンプー・ブロー技術
20	サイドシャンプー
21	バックシャンプー
22	ブローテクニック
23	ハンドブローテクニック
24	スタイリング剤の使い方
25	ヘアカラーリング基礎技術
26	ファッションカラー(ワンタッチ・リタッチ技術)
27	グレイヘア(リタッチ技術)
28	酸性カラー
29	ヘアカラーリング応用技術(ブリーチ・ウィービング・メッシュテクニック他)
30	パーマネントウェーブ基礎技術(デザイン巻きテクニック)
31	パーマネントウェーブ応用技術
32	ヘアカッティング技術(ワンレングス・グラデーション・レイヤーカット)
33	国家試験第1課題(レイヤーカッティング)
34	国家試験第2課題(オールウェーブセッティング・ワインディング)
35	国家試験対策授業

成績評価方法
期末試験100点満点として採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介
基礎技術から応用技術まで、実技理論に基づきモデルウィッグを使つてのトレーニングを行い、相モデル形式での実践トレーニングなど適宜取り入れる。
学生それぞれに対し具体的な指示がだせる教員、学生が理解に苦しむ事が少なく、答えに導ける力を有している。
常に事柄の2歩3歩先を思い描き、学生と対話をしながら目標に進んでいく。そういった事から学生からの信頼は厚い教員である。

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	前期	後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容実習	露久保 修子	30単位	900時間以上

授業の到達目標及びテーマ

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせ、理解することにより、美容師国家試験に合格すること。

・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた美容技術を提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。

回	授業計画及び学習の内容
1	ワインディング基礎技術
2	ブロッキング技術
3	上巻き
4	下巻き
5	全体構成
6	タイム計測
7	セット技術
8	カーラー・ホットカーラー
9	編み込テクニック
10	シニヨン
11	トップシニヨン
12	ネーブシニヨン
13	ロールシニヨン
14	ワンロール
15	夜会巻き
16	抱き合わせ
17	アイロンテクニック
18	ブライダルヘアテクニック
19	シャンプー・ブロー技術
20	サイドシャンプー
21	バックシャンプー
22	ブローテクニック
23	ハンドブローテクニック
24	スタイリング剤の使い方
25	ヘアカラーリング基礎技術
26	ファッションカラー(ワンタッチ・リタッチ技術)
27	グレイヘア(リタッチ技術)
28	酸性カラー
29	ヘアカラーリング応用技術(ブリーチ・ウィービング・メッシュテクニック他)
30	パーマネントウェーブ基礎技術(デザイン巻きテクニック)
31	パーマネントウェーブ応用技術
32	ヘアカッティング技術(ワンレングス・グラデーション・レイヤーカット)
33	国家試験第1課題(レイヤーカッティング)
34	国家試験第2課題(オールウェーブセッティング・ワインディング)
35	国家試験対策授業

成績評価方法

期末試験100点満点として採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする。国家試験に照準を合わせた授業を行い、適宜、質疑応答を交えるなどして理解の深化を図っている。

令和5年度より当校に就任し、教員として学校運営および学生指導に貢献している。

地道で努力を惜しまない姿勢で着実に知識を深め、令和7年度には美容理論および美容実習の資格を取得した。

習得した知識・技術を学生指導へ還元し、教育内容の充実と学生育成に努めている。

添付書類② 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	前期	後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	美容実習	高田 実里	30単位	900時間以上

授業の到達目標及びテーマ

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせ、理解することにより、美容師国家試験に合格すること。

・美容業に従事するプロフェッショナルとして社会的にも高く評価される人に育つこと。

講義概要

美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実に身に付けさせるとともに、これらの基本的操作を適宜組み合わせることで完成させる技術を習得させること美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせること。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせること。

回	授業計画及び学習の内容
1	ワインディング基礎技術
2	ブロッキング技術
3	上巻き
4	下巻き
5	全体構成
6	タイム計測
7	セット技術
8	カーラー・ホットカラー
9	編み込テクニック
10	シニヨン
11	トップシニヨン
12	ネーブシニヨン
13	ロールシニヨン
14	ワンロール
15	夜会巻き
16	抱き合わせ
17	アイロンテクニック
18	ブライダルヘアテクニック
19	シャンプー・ブロー技術
20	サイドシャンプー
21	バックシャンプー
22	ブローテクニック
23	ハンドブローテクニック
24	スタイリング剤の使い方
25	ヘアカラーリング基礎技術
26	ファッションカラー(ワンタッチ・リタッチ技術)
27	グレイヘア(リタッチ技術)
28	酸性カラー
29	ヘアカラーリング応用技術(ブリーチ・ウィービング・メッシュテクニック他)
30	パーマントウェーブ基礎技術(デザイン巻きテクニック)
31	パーマントウェーブ応用技術
32	ヘアカッティング技術(ワンレングス・グラデーション・レイヤーカット)
33	国家試験第1課題(レイヤーカッティング)
34	国家試験第2課題(オールウェーブセッティング・ワインディング)
35	国家試験対策授業

成績評価方法

期末試験100点満点として採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

基礎技術から応用技術まで、実技理論に基づきモデルウィッグを使ってのトレーニングを行い、相モデル形式での実践トレーニングなど適宜取り入れる。

平成29年から当校に就任し教員として当校に貢献をする。

就任した平成30年に日本理容美容教育センターによる美容理論の教員資格研修を受講し資格を取得する。

常に知識を磨き学生からの信頼も厚い。授業も学生理解を主とし展開され分かりやすい授業だ

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2026～2027年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	一般教養	後藤 由歌	1単位	30時間以上

授業の到達目標及びテーマ
必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせる 高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付ける

講義概要
一般教養課目は、社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことによって、 社会人としての心構えを養い、さらに、専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術、文化など幅広い教養を身に付けることによって、 人間性豊かな人格の形成を目指すものであること。 専門教育課目は、必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせるものであること 科学的基礎に裏付けられた高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付けるばかりでなく、これらを応用して新たな技術を 開発するための総合的能力を習得させること。

回	授業計画及び学習の内容
1	コンプライアンス研修
2	保険関連授業
3	マナー講習
4	ティーチン(芸術、文化)
5	ファッション授業
6	パーソナルカラー
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	

成績評価方法
期末試験100点満点または作品提出で採点する。授業態度の総合評価 出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介
メイクアップ: エステティック技法、ネイル技術、着付け、メイクアップ技術を、座学と技術を駆使して進めていく。 トータルビューティ: ファッション学、パーソナルカラー、ヘアデザインに対して美容実習、文化論で学んだ基礎の応用を学ぶ アドバンスプログラム: 専門的な技術の習得を目指す。 平成11年より当校で教員として従事、美容技術理論、美容実習、美容保健、美容文化論、美容運営管理といった多くの資格を有し 幅広い知識の持ち主である。単元別に教員の采配をし学生の感性に訴えた授業を行う。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2026～2027年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	メイクアップ	有村美保、中林希美子	4単位	120時間以上

授業の到達目標及びテーマ
必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせる 高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付ける

講義概要
一般教養課目は、社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことによって、 社会人としての心構えを養い、さらに、専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術、文化など幅広い教養を身に付けることによって、 人間性豊かな人格の形成を目指すものであること。 専門教育課目は、必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせるものであること 科学的基礎に裏付けられた高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付けるばかりでなく、これらを応用して新たな技術を 開発するための総合的能力を習得させること。

回	授業計画及び学習の内容
1	エステティック 皮膚の生理と構造 カウンセリング マッサージ理論 フェイシャルケア技術 フェイシャル及びデコルテマッサージ
2	エステティック フェイシャルパック ボディケア技術 ボディマッサージ
3	ネイル技術 ネイル技術概論、ネイル技術の種類、詰め構造と機能、詰めのカット形状、ネイル技術と公衆衛生
4	ネイル技術 カウンセリング、ネイルケア、アーティフィシャルネイル、手と足のマッサージ
5	メイクアップ メイクアップ概論、顔の形態学的な観察、メイクアップと色彩、皮膚の生理と構造、メイクアップの道具
6	メイクアップ スキンケア、ベースメイクアップ、アイメイクアップ、アイブロウメイクアップ
7	メイクアップ リップメイクアップ、ブラッシュオンメイクアップ、まつ毛エクステンション
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	

成績評価方法
期末試験100点満点または作品提出で採点する。授業態度の総合評価 出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介
メイクアップ:エステティック技法、ネイル技術、着付け、メイクアップ技術を、座学と技術を駆使して進めていく。 トータルビューティ:ファッション学、パーソナルカラー、ヘアデザインに対して美容実習、文化論で学んだ基礎の応用を学ぶ アドバンスプログラム:専門的な技術の習得を目指す。 平成11年より当校で教員として従事、美容技術理論、美容実習、美容保健、美容文化論、美容運営管理といった多くの資格を有し 幅広い知識の持ち主である。単元別に教員の采配をし学生の感性に訴えた授業を行う。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	1年2年	前期 後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	トータルビューティ	後藤 由歌	6単位	180時間以上

授業の到達目標及びテーマ
必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせる 高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付ける

講義概要

一般教養課目は、社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことによって、
社会人としての心構えを養い、さらに、専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術、文化など幅広い教養を身に付けることによって、
人間性豊かな人格の形成を目指すものであること。

専門教育課目は、必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせるものであること
科学的基礎に裏付けられた高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付けるばかりでなく、これらを応用して新たな技術を
開発するための総合的能力を習得させること。

回	授業計画及び学習の内容
1	日本髪 日本髪の由来、日本髪の各部の名称、日本髪の種類と特徴、日本髪と調和
2	日本髪 日本髪の装飾品、日本髪の結髪道具、日本髪の手入れ、かつら
3	着付けの理論と技術 着付けの目的、礼装、着物と季節、着物のいろいろ、帯、小物
4	着付けの理論と技術 着物各部の名称、着物のたたみ方、着付けの一般的要領
5	着付けの理論と技術 留袖着付け技術、振袖着付け技術、帯締め、帯揚げの結び方
6	着付けの理論と技術 男子礼装羽織、袴着付け技術、羽織の紐の結び方
7	着付けの理論と技術 女子袴着付け技術、婚礼着付けの注意事項
8	着付けの理論と技術 和装花嫁、洋装花嫁
9	美容モード理論 ファッション学 基礎、応用
10	美容モード理論 パーソナルカラー 基礎 応用
11	美容モード理論 ヘアデザイン
12	デザインパーマ
13	就職活動
14	接客実習
15	実務実習
16	
17	
18	
19	
20	
21	

成績評価方法

期末試験100点満点または作品提出で採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

メイクアップ: エステティック技法、ネイル技術、着付け、メイクアップ技術を、座学と技術を駆使して進めていく。

トータルビューティ: ファッション学、パーソナルカラー、ヘアデザインに対して美容実習、文化論で学んだ基礎の応用を学ぶ

アドバンスプログラム: 専門的な技術の習得を目指す。

平成11年より当校で教員として従事、美容技術理論、美容実習、美容保健、美容文化論、美容運営管理といった多くの資格を有し
幅広い知識の持ち主である。単元別に教員の采配をし学生の感性に訴えた授業を行う。

コーセー美容専門学校

開講課程

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象	
美容本科	昼間部	昼間29期(2025年度2026年度)	1年2年	(前期) (後期)
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数	
必修科目	アドバンスプログラム	後藤 由歌	6単位	270時間以上

授業の到達目標及びテーマ
必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせる 高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付ける

講義概要

一般教養課目は、社会生活における基本的規範やコミュニケーション技術などを学ぶことによって、
社会人としての心構えを養い、さらに、専門的技術者としての自覚を促すとともに、芸術、文化など幅広い教養を身に付けることによって、
人間性豊かな人格の形成を目指すものであること。

専門教育課目は、必修課目において習得した基礎的な専門知識や技術を基に、さらに高度な専門知識や技術を身に付けさせるものであること
科学的基礎に裏付けられた高度な美容技術を確実に実施する能力を身に付けるばかりでなく、これらを応用して新たな技術を
開発するための総合的能力を習得させること。

回	授業計画及び学習の内容
1	ヘアデザイナーコース
2	ヘッドスパ対策授業
3	デザインパーマ
4	セット授業
5	セット授業作品制作
6	ビューティデザイナーコース
7	化粧品検定対策授業
8	ビューティベーシック
9	メイクセラピー
10	英会話
11	各選択授業
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	

成績評価方法

期末試験100点満点または作品提出で採点する。授業態度の総合評価
出席評価、素行不良などにより成績評価対象外となるので注意する事

授業の特徴・形式と教員紹介

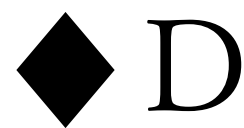
メイクアップ: エステティック技法、ネイル技術、着付け、メイクアップ技術を、座学と技術を駆使して進めていく。

トータルビューティ: ファッション学、パーソナルカラー、ヘアデザインに対して美容実習、文化論で学んだ基礎の応用を学ぶ

アドバンスプログラム: 専門的な技術の習得を目指す。

平成11年より当校で教員として従事、美容技術理論、美容実習、美容保健、美容文化論、美容運営管理といった多くの資格を有し
幅広い知識の持ち主である。単元別に教員の采配をし学生の感性に訴えた授業を行う。

閲覧用



GPA 等の客観的指標

当校の客観的な指標に対する考え方

成績評価（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

学業成績は、前期期末試験、後期期末試験の国家試験科目によって評価される。但し試験で全ての国家試験科目を行わない場合、実施した国家試験科目の総和で順位を出し評価を下す。

各試験ごとに点数を学生に通知する。

当校の適格基準

試験の総和順位で下位 1/4 人数と、下位 1/4 指標を算出する。

前期試験、後期試験で総合成績順位が下位 4 分の 1 以下となった場合、警告となる。

それを前期試験、後期試験、連続で警告になった場合は廃止となる。

例外

下位 1/4 にあったとしても職業に密接に関連する資格等に十分に合格できる水準にある場合は警告、廃止を免除するものとする。

当校における水準

① 国家試験課目総和の平均点が 60 点以上で、各課目 0 点を取っていない。

平均点数は小数点第 1 位を四捨五入とする。

② 社会的養護を必要とする者と学校が認めた学生に関しては「警告」「停止」から除外するものとする。

学生成績通知(1 年次、2 年次共に)

前期(4/1～9/30) 10 月中に保護者、学生共に通知する。

後期(10/1～3/31) 3 月学生終業日後、保護者、学生共に通知する。

閲覧用



卒業認定に関する方針

単位時間認定について

単位認定に関しては、別に定めのあるものを除き以下の定めるところによる。

I. 単位認定方法

- ①. 授業出席時間による認定。（以下、課目出席認定という。）
- ②. 成績評価による認定。（以下、課目成績認定という。）
- ①・②両方を認定した者について進級、卒業を認める。

II. 留年について

- ①. 進級・卒業が認められない者は留年とする。
- ②. 留年期間はその学年とし、留年期間は 1 年間とする。
- ③. 履修課目はその学年の全課目を履修する。

III. 休学・復学について

- ①. 疾病その他やむを得ない事由によって、休学する場合は、その事由を記載した書類および診断書の提出を義務づけ指定された期日までに休学届を提出し、学校長の許可を受けなければならない。
- ②. 休学した者が復学をする場合は、復学の旨を指定された期日までに届出を行い、学校指定の書類を提出し復学することができる。

IV. 補講について

- ①. 原則的に単位補講・成績補講の遅刻・欠席は認めない。
- ②. 追試、補講実施日については、担当教員より指示された日程にて行われる。

課目出席認定単位不足による補講について

- ①. 疾病傷害等により、自宅療養あるいは通院のために、所定の授業時間不足になった者は、合計不足時間数 60 時間を限度として補講(有料)を認める。
 - ②. 授業時間数不足になった課目の補講(有料)を 60 時間を限度として行う。60 時間を超えた場合は留年となる。
 - ③. 補講になった場合は、保護者等宛に連絡をする。
- * 但し、学校保健法に定められた疾病により欠席した場合には、法定伝染病である事を証明する診断書を提出し、公欠と認めた場合は、その疾病の回復期間に要した授業時間、課目出席時間を認定する。

課目成績認定単位不足による補習について

（ 実技課目成績認定について ）

- ①. 実技課目成績認定試験において、不合格となった者は、追試験前に補習を受けなければならない。
- ②. 実技追試験において、不合格となった者は、判定試験前に補習を受けなければならない。

（ 学科課目成績認定について ）

成績認定試験において合格点に達していない課目がある場合は、追試験を受けなければならない。

- ①. 学科追試験において合格点に達した場合、成績評価によって単位を認定する。
- ②. その学期末の追試験を受け不合格となった場合は、判定試験を受け認定を受けなければならない。

（ 課目出席・課目成績の告知について ）

- ①. 各学年共に、学業成績書を保護者等宛てに送付する。（ 年 2 回 10 月・3 月に実施 ）

（ 進級・卒業について ）

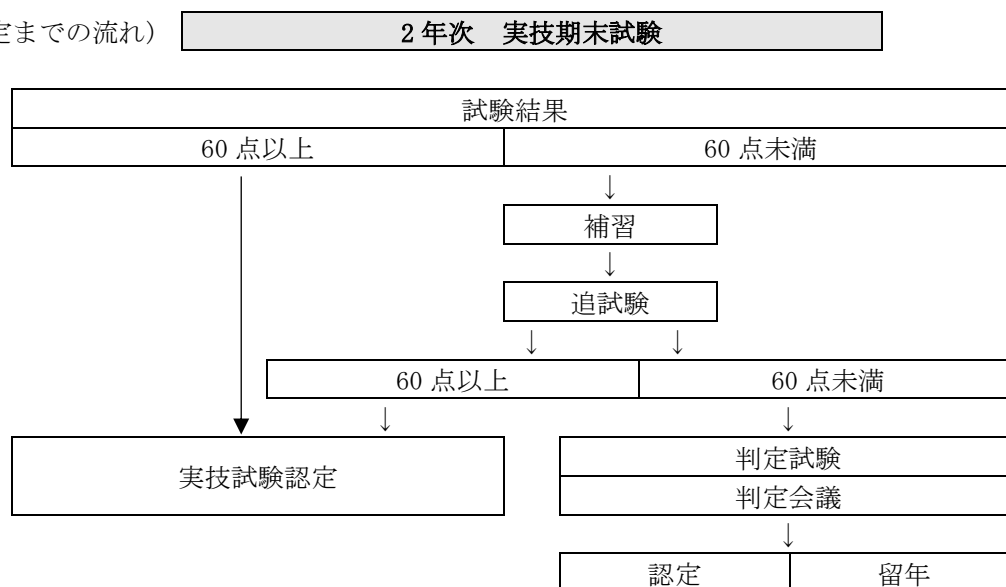
- ①. その学期末の追試験を受け、不合格となった場合は、判定試験を受け認定を受けなければならない。

（ 不正行為による単位無効について ）

- ①. 単位認定の査定に対して、不正行為又は虚偽の申告が確認された場合(カンニング・レポートの代理作成等)には単位認定終了後であっても、直ちに当該単位を無効とし、学則に基づき処罰の対象となる。(停学処分)

成績評価による単位認定

（ 成績認定までの流れ）



単位時間認定について

単位認定に関しては、別に定めのあるものを除き以下の定めるところによる。

I. 単位認定方法

- ①. 授業出席時間による認定。（以下、課目出席認定という。）
- ②. 成績評価による認定。（以下、課目成績認定という。）
- ①・②両方を認定した者について進級、卒業を認める。

II. 留年について

- ①. 進級・卒業が認められない者は留年とする。
- ②. 留年期間はその学年とし、留年期間は 1 年間とする。
- ③. 履修課目はその学年の全課目を履修する。

III. 休学・復学について

- ①. 疾病その他やむを得ない事由によって、休学する場合は、その事由を記載した書類および診断書の提出を義務づけ指定された期日までに休学届を提出し、学校長の許可を受けなければならない。
- ②. 休学した者が復学をする場合は、復学の旨を指定された期日までに届出を行い、学校指定の書類を提出し復学することができる。

IV. 補講について

- ①. 原則的に単位補講・成績補講の遅刻・欠席は認めない。
- ②. 追試、補講実施日については、担当教員より指示された日程にて行われる。

課目出席認定単位不足による補講について

- ①. 疾病傷害等により、自宅療養あるいは通院のために、所定の授業時間不足になった者は、合計不足時間数 60 時間を限度として補講(有料)を認める。
 - ②. 授業時間数不足になった課目の補講(有料)を 60 時間を限度として行う。60 時間を超えた場合は留年となる。
 - ③. 補講になった場合は、保護者等宛に連絡をする。
- * 但し、学校保健法に定められた疾病により欠席した場合には、法定伝染病である事を証明する診断書を提出し、公欠と認めた場合は、その疾病の回復期間に要した授業時間、課目出席時間を認定する。

課目成績認定単位不足による補習について

（ 実技課目成績認定について ）

- ①. 実技課目成績認定試験において、不合格となった者は、追試験前に補習を受けなければならない。
- ②. 実技追試験において、不合格となった者は、判定試験前に補習を受けなければならない。

（ 学科課目成績認定について ）

成績認定試験において合格点に達していない課目がある場合は、追試験を受けなければならない。

- ①. 学科追試験において合格点に達した場合、成績評価によって単位を認定する。
- ②. その学期末の追試験を受け不合格となった場合は、判定試験を受け認定を受けなければならない。

（ 課目出席・課目成績の告知について ）

- ①. 各学年共に、学業成績書を保護者等宛てに送付する。（ 年 2 回 10 月・3 月に実施 ）

（ 進級・卒業について ）

- ①. その学期末の追試験を受け、不合格となった場合は、判定試験を受け認定を受けなければならない。

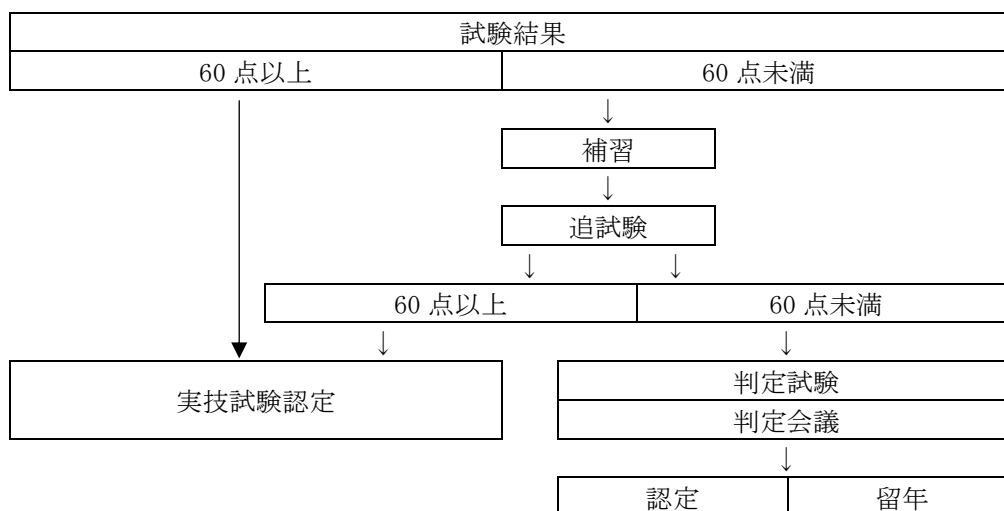
（ 不正行為による単位無効について ）

- ①. 単位認定の査定に対して、不正行為又は虚偽の申告が確認された場合(カンニング・レポートの代理作成等)には単位認定終了後であっても、直ちに当該単位を無効とし、学則に基づき処罰の対象となる。(停学処分)

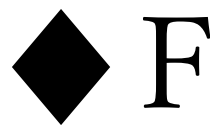
成績評価による単位認定

（ 成績認定までの流れ）

1 年次 実技期末試験



閲覧用



財務諸表(事業報告書)

貸借対照表、収支計算書

財産目録、

幹事による監査報告書

事業活動収支計算書

自 2025年4月 1日
至 2026年3月31日

(単位 円)

	科 目	2025年度予算額 A	2025年度決算額 B	差異 A-B	注記
教育活動収支	事業活動収入の部	〈学生生徒納付金〉	278,100,000	280,965,000	△ 2,865,000
		授 業 料	122,400,000	123,570,000	△ 1,170,000
		入 学 金	18,000,000	18,300,000	△ 300,000
		実 習 費	68,850,000	69,547,500	△ 697,500
		施 設 設 備 資 金	68,850,000	69,547,500	△ 697,500
		そ の 他 の 納 付 金		0	0
		〈手数料〉	4,700,000	6,244,800	△ 1,544,800
		入 学 検 定 料	3,000,000	3,040,000	△ 40,000
		試 験 料	1,500,000	3,016,000	△ 1,516,000
		証 明 手 数 料	200,000	188,800	11,200
		〈寄付金収入〉	5,229,000	5,221,340	7,660
		特 別 寄 付 金	0	0	0
		一 般 寄 付 金 収 入	5,229,000	5,221,340	7,660
		現 物 寄 付	0		0
		〈経常費等補助金〉	19,250,000	25,063,880	△ 5,813,880
		地 方 公 共 団 体 補 助 金	19,250,000	25,063,880	△ 5,813,880
		〈付随事業収入〉	82,400,000	86,923,967	△ 4,523,967
		補 助 活 動 収 入	82,400,000	86,923,967	△ 4,523,967
		〈雑収入〉	13,500,000	14,964,530	△ 1,464,530
		施 設 設 備 利 用 料 収 入	1,300,000	1,332,100	△ 32,100
		そ の 他 の 雑 収 入	12,200,000	13,632,430	△ 1,432,430
		教育活動収入合計	403,179,000	419,383,517	△ 16,204,517
	事業活動支出の部	〈人件費〉	194,228,000	181,732,191	12,495,809
		教 員 人 件 費	142,638,000	132,166,204	10,471,796
		職 員 人 件 費	40,690,000	36,932,809	3,757,191
		退職給与引当金繰入額	0	0	0
		退 職 金	10,900,000	12,633,178	△ 1,733,178
		〈教育研究費〉	172,449,000	165,650,396	6,798,604
		消 耗 品 費	6,000,000	3,959,762	2,040,238
		光 熱 水 費	9,500,000	7,176,469	2,323,531
		旅 費 交 通 費	200,000	165,162	34,838
		奨 学 費	21,760,000	27,468,400	△ 5,708,400
		福 利 費	2,800,000	2,086,110	713,890
		通 信 費	4,000,000	4,085,615	△ 85,615
		印 刷 製 本 費	240,000	6,534	233,466
		出 版 物 費	250,000	259,942	△ 9,942
		修 繕 費	15,000,000	14,870,680	129,320
		損 害 保 険 料	200,000	153,001	46,999
		賃 借 料	7,100,000	7,006,064	93,936
		諸 会 費	1,200,000	1,166,921	33,079
		会 議 費	180,000	179,291	709
		委 託 手 数 料	11,500,000	11,209,031	290,969
		報 酬 費	7,000,000	3,830,747	3,169,253
		補 助 活 動 収 入 原 価	61,800,000	60,853,886	946,114
		減 価 償 却 額	22,469,000	20,307,141	2,161,859
		雑 費	300,000	383,140	△ 83,140
		その他の教育研究経費	950,000	482,500	467,500

教育活動収支	事業活動支出の部	〈管理経費〉		65,617,000	62,478,720	3,138,280	
		消 耗 品 費		2,700,000	686,729	2,013,271	
		旅 費 交 通 費		350,000	410,990	△ 60,990	
		福 利 費		600,000	1,076,256	△ 476,256	
		通 信 費		2,700,000	3,332,533	△ 632,533	
		印 刷 製 本 費		6,300,000	4,892,151	1,407,849	
		出 版 物 費		50,000	0	50,000	
		修 繕 費		200,000	0	200,000	
		損 害 保 険 料		750,000	737,092	12,908	
		賃 借 料		1,600,000	845,537	754,463	
		公 租 公 課		7,000,000	4,081,620	2,918,380	
		広 報 費		29,350,000	29,261,277	88,723	
		諸 会 費		100,000	57,700	42,300	
		会 議 費		500,000	443,856	56,144	
		渉 外 費		300,000	425,580	△ 125,580	
		報 酬 費 委 託 手 数 料		7,200,000	11,016,399	△ 3,816,399	
		減 価 償 却 額		5,617,000	5,076,785	540,215	
		雑 費		250,000	117,715	132,285	
		そ の 他 の 管 理 経 費		50,000	16,500	33,500	
		〈徴収不能額等〉		300,000	0	300,000	
		徴収不能引当金繰入額		300,000	0	300,000	
		教育活動支出合計		432,594,000	409,861,307	22,732,693	
		教育活動収支差額 A－B		△ 29,415,000	9,522,210	△ 38,937,210	
教育活動外収支	科 目		2025年度予算額 A	2025年度決算額 B	差異 A－B		
	収入	受取利息・配当金	2,000,000	2,695,599	△ 695,599		
		教育活動外収入計	2,000,000	2,695,599	△ 695,599		
	支出	借入金等利息	0	0	0		
		教育活動外支出計	0	0	0		
	教育活動外収支差額 D－E		2,000,000	2,695,599	△ 695,599		
経常収支差額		△ 27,415,000	12,217,809	△ 39,632,809			
特別収支	科 目		2025年度予算額 A	2025年度決算額 B	差異 A－B		
	収入	資産売却差額	0	0	0		
		その他の特別収入		0	0		
		特別収入計	0	0	0		
	支出	資産処分差額	1,000,000	59,158	940,842		
		教育研究用機器備品処分差額	1,000,000	34,540	965,460		
		管理用機器備品処分差額	0	24,618	△ 24,618		
		その他の特別支出	0	0	0		
		特別支出計	1,000,000	59,158	940,842		
	特別収支差額		△ 1,000,000	△ 59,158	△ 940,842		
予 備 費			0	0			
基本金組入前当年度収支差額		△ 28,415,000	12,158,651	△ 40,573,651			
基本金組入額合計		△ 18,000,000	△ 321,194	△ 17,678,806			
当年度収支差額		△ 46,415,000	11,837,457	△ 58,252,457			
前年度繰越収支差額		216,859,000	246,652,177	△ 29,793,177			
基本金取崩額		0	0	0			
翌年度繰越収支差額		170,444,000	258,489,634	△ 88,045,634			

(参考)

事業活動収入計	405,179,000	422,079,116	△ 16,900,116	
事業活動支出計	433,594,000	409,920,465	23,673,535	
	△ 28,415,000	12,158,651	△ 40,573,651	

貸借対照表

2026年3月31日

法人名:学校法人コーセー学園

(単位 円)

科 目	本年度末残高 (A)	前年度末残高 (B)	増 減 (A-B)
資産の部			
固 定 資 産	1,571,429,433	1,573,697,691	△ 2,268,258
有形固定資産	866,179,993	890,498,899	△ 24,318,906
土地	478,087,250	478,087,250	0
建物	276,984,314	287,370,852	△ 10,386,538
建物付属設備	48,395,488	54,492,975	△ 6,097,487
構築物	32,463,515	35,283,182	△ 2,819,667
教育研究用機器備品	17,128,410	21,947,597	△ 4,819,187
管理用機器備品	10,372,179	10,568,206	△ 196,027
図書	2,748,837	2,748,837	0
建設仮勘定	0	0	0
特定資産	704,711,516	682,660,868	22,050,648
第4号基本金引当特定資産	31,064,000	31,064,000	0
退職給与引当特定資産	0	0	0
減価償却引当特定資産	673,647,516	651,596,868	22,050,648
その他の固定資産	537,924	537,924	0
電話加入権	317,084	317,084	0
ソフトウェア	170,840	170,840	0
差入保証金	50,000	50,000	0
徴収不能引当金	0	0	0
流 動 資 産	487,086,608	508,335,142	△ 21,248,534
現金預金	473,207,581	491,367,563	△ 18,159,982
未収入金	1,181,480	868,350	313,130
貯蔵品	4,789,293	4,646,670	142,623
前払金	6,974,176	11,452,449	△ 4,478,273
仮払金	934,078	110	933,968
資 産 の 部 合 計	2,058,516,041	2,082,032,833	△ 23,516,792

負債の部

固定負債	0	0	0
長期借入金	0	0	0
退職給与引当金	0	0	0
徴収不能引当金	0	0	0
流動負債	228,817,814	264,493,257	△ 35,675,443
未払金	9,934,680	41,440,479	△ 31,505,799
前受金	207,694,880	214,168,260	△ 6,473,380
預り金	2,333,155	2,414,735	△ 81,580
仮受金	2,848,100	491,230	2,356,870
卒業費用預り金	5,729,695	5,669,380	60,315
源泉預り金	277,304	309,173	△ 31,869
負 債 の 部 合 計	228,817,814	264,493,257	△ 35,675,443

純資産の部

基本金	1,571,208,593	1,570,887,399	321,194
第1号基本金	1,540,144,593	1,539,823,399	321,194
第4号基本金	31,064,000	31,064,000	0
繰越収支差額	258,489,634	246,652,177	11,837,457
翌年度繰越収支差額	258,489,634	246,652,177	11,837,457
純 資 産 の 部 合 計	1,829,698,227	1,817,539,576	12,158,651

負債の部、純資産の部合計	2,058,516,041	2,082,032,833	△ 23,516,792
--------------	---------------	---------------	--------------

監 査 報 告 書

2026年5月15日

学校法人 コーセー学園

理事長 小林 正典 殿

監事

菅原 恒夫 

監事

村上 貴 

私たちは、2025年度(2025年4月1日から2026年3月31日まで)における学校法人
コーセー学園の財産の状況及び理事の業務執行の状況を監査しましたので、これに
ついて次の通り報告します。

1. 監査の方法の概要

(1) 会計監査について

帳簿ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを実施して計算
書類の正確性を検討しました。

(2) 業務監査について

理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と
思われる監査手続きを実施して業務執行の妥当性を検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業活動収支計算書、資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、及び
貸借対照表並びに財産目録は、いずれも法人の収支の状況及び財産の状況を
正しく示しているものと認めます。

(2) 事業報告書は、事業の内容を正しく示しているものと認めます。

(3) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する
重大な事実は認められません。

財産目録

令和8年3月31日現在

学校法人コーセー学園

(資産の部)

I 流動資産

(1) 現金	金		555,368
(2) 普通預金	金	みずほ銀行王子支店	416,527,213
(3) 定期預金	金		56,125,000
(4) 貯蔵品	品	次年度用教材・物品等	4,789,293
(5) 前払金	金	次年度学校ガイドブック等広報費等	6,974,176
(6) 仮払金	金		934,078
(7) 未収入金	金		695,920
(8) 補助活動未収入金	金		485,560
小計			487,086,608

II 固定資産

(1) 土地	地	東京都北区堀船一丁目4番7所在 1,159.67㎡	478,087,250
(2) 建物	物	同上 鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付3階建(1号館) 1,017.07㎡	250,529,000
		鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 (2号館) 1,489.66㎡	262,759,162
		1号館、2号館渡り架台	440,000
		ラウンジ棟新設 108.99㎡	29,965,633
(3) 建物付属設備		冷暖房・電気設備・給排水衛生設備等	305,261,211
(4) 構築物		遮音壁・舗装・外溝工事等	76,948,843
(5) 教育研究用機器備品		生徒用机・椅子・シャワー・ホール等	85,214,257
(6) その他の機器備品		生徒用更衣ロッカー等	47,873,316
(7) 減価償却累計額		有形固定資産減価償却額	△ 673,647,516
(8) 図書		毛髪全科等	2,748,837
(9) 電話加入権			317,084
(10) ソフトウェア			170,840
(11) 差入保証金		警備保障会社加入保証金	50,000
(12) 特定預金		減価償却引当預金 673,647,516	673,647,516
(13) 第4号基本金引当資産			31,064,000
(14) 徴収不能引当金			0
小計			1,571,429,433

資産合計 2,058,516,041

(負債の部)

I 流動負債

(1) 仮受金	金		2,848,100
(2) 未払金	金		9,934,680
(3) 前受金	金		(207,611,610)
	入学金		22,350,000
	教材費		73,571,610
	授業料		52,560,000
	実習費		29,565,000
	施設設備費		29,565,000
	校外研修費		0
	その他の前受金		83,270
(4) 預り金			2,333,155
(5) 源泉預り金			277,304
(6) 卒業費用預り金			5,729,695
小計			228,817,814

II 固定負債

(1) 退職給与引当金			0
小計			0

負債合計 228,817,814

(基本金の部)

第1号基本金		1,540,144,593
第4号基本金		31,064,000

基本金合計 1,571,208,593

(消費収支差額の部)

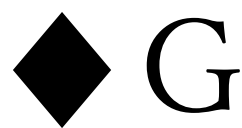
翌年度繰越消費収入超過額		258,489,634
--------------	--	-------------

負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部 合計 2,058,516,041

この財産目録は学校法人コーセー学園の令和8年3月31日現在の資産内容に相違ないことを確認しました。

令和8年5月15日
学校法人コーセー学園
監事 菅原恒夫

閲覧用



自己評価

別紙 2

自己点検・自己評価報告書

2026 年 6 月 20 日現在

コーセー美容専門学校

2026 年 6 月 20 日作成

目 次

基準 1 教育理念・目的・育成人材	1
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	2.3
1-2 育成人材像は専門分野に関する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	5
1-4 社会ニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	6
基準 2 学校運営	7
2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	8
2-2 理念等を達成するための事業計画を定めているか	9
2-3 設置法人は組織運営を適切に行っているか	10
2-4 学校運営のための組織を整備しているか	11.12
2-5 人事・給与に関する制度を整備しているか	13
2-6 意思決定システムを整備しているか	14
2-7 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	15
基準 3 教育活動	16
3-1 理念に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	17
3-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	18
3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	19.20
3-4 教育課程について外部の意見を反映しているか	21
3-5 キャリア教育を実施しているか	22
3-6 授業評価を実施しているか	23
3-7 成績評価・終了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	24
3-8 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	25

3-9 目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置づけているか	26
3-10 資格・免許取得の指導体制はあるか	27
3-11 資格・要件を備えた教員を確保しているか	28.29
3-12 教員の資質向上への取り組みを行っているか	30
3-13 生涯学習に対し積極的に取り組んでいるか	31
基準 4 学修成果	32
4-1 就職率の向上が図れているか	33
4-2 資格・免許取得率の向上が図られているか	34
4-3 卒業生の社会的評価を把握しているか	35
基準 5 学生支援	36
5-1 就職等進路に関する支援体制を整備しているか	37
5-2 退学率の低減が図られているか	38
5-3 学生相談に関する体制を整備しているか	39
5-4 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	40
5-5 学生の課外活動に対する支援体制を整備しているか	41
5-6 留学生に対する相談体制を整備しているか	42
5-7 学生寮の設備などの生活環境支援体制を整備しているか	43
5-8 保護者との連携体制を構築しているか	44
5-9 卒業生への支援体制を整備しているか	45
5-10 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	46
5-11 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	47

基準 6 教育環境.....48

- 6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか.....49.50
- 6-2 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか.....51.52
- 6-3 学内における安全体制を整備し、適切に運用しているか.. 53.54

基準 7 学生の募集と受け入れ.....55

- 7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいか..... 56
- 7-2 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか.....57.58
- 7-3 入学選考基準を明確し、適切に運用しているか.....59
- 7-4 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか..... 60
- 7-5 経費内容に対応し、学納金を算定しているか.....61
- 7-6 入学辞退者に対し授業料等について適正な取扱いを行っているか..... 62

基準 8 財務.....63

- 8-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか..... 64.65
- 8-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか..... 66.67
- 8-3 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画案を策定しているか..... 68
- 8-4 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか.....69
- 8-5 私立学校法及び寄附行為に基づき適正に監査を実施しているか..... 70

- 8-6 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備、適切に運用しているか..... 71

基準 9 法令等の遵守.....72

- 9-1 法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか..... 73
- 9-2 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか 74
- 9-3 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか.....75
- 9-4 自己評価を公表しているか.....76
- 9-5 学校関係者評価の実施体勢を整備し評価を行っているか.....77
- 9-6 学校関係者評価結果を公表しているか..... 78
- 9-7 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか..... 79

基準 10 社会貢献・地域貢献..... 80

- 10-1 学校の教育資源を使用した社会貢献・地域貢献を行っているか.....81.82
- 10-2 国際交流に取り組んでいるか..... 83
- 10-3 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか..... 84

基準 1 教育理念・目的・育成人材等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
・教育理念・目的（育成人材像）は、学校創設時から具体的に定められているので、教職員に周知の面では十分になされている。 ・2016年4月に校名を「コーセー美容専門学校」に変更して、学校創設の原点に戻り理念・目的を再確認している。 学生の気質も大きく変わりつつあるので対応していかなければならないと感じている。 学外への公表に就いては、主にホームページで行っている。わかりやすく情報提供するために学校案内パンフレット、リーフレット等を活用しており、高等学校関係者にも比較的好評である。（化粧品のコーセーがバックアップしている学校である事が地元や高等学校に好評である。） 学校の特色については、コーセーブランドを使用したメイクの授業があり、コーセーから派遣される特別講師により、最新のテクニックを学ぶことができる。 またビューティデザイナーコースでは、コーセーで仕事をした経験豊かなビューティコンサルタントが講師として一部の授業を担当している。 18 才人口の減少、大学進学率の上昇等で専門学校への進学率は毎年厳しい状況である。その中で、学生確保のための広報活動（学校訪問・オープンキャンパス等）にいろいろ工夫（告知方法など）を加えると共に、施設の美化に投資してきた。 各学年、定員 160 名に対し、昨年度の新入生(新 1 年生)は 120 名と厳しい状況であったが、本年度(2026 年度)の新入生は 145 名と前年度より 25 名のプラスであった。 美容師国家試験 2026 年春の合格率は 97.1%であった。（実技合格率 100%、学科合格率 97.1%）※全国平均合格率は 87%、就職希望者の就職率は 100%であった。職業専門学校として国家資格合格率・就職率は 100%を常に目指していきたい。	本校の教育理念は「人を美しくする技術とところを育み、誰からも愛される人材を育成する」 教育方針は、「より実践的な美容技術を高め、様々な体験を通して感性を磨き、接客に必要なコミュニケーション能力を身につける」テーマは「自立創造」これらの理念、方針、テーマは、教職員全員に周知徹底している。 ◆ 特徴・特色 美容の世界をめざし、チャレンジする若者の夢をコーセーが全面的にバックアップしている。 ① コーセーによる充実サポート ・コーセーの全面的なバックアップで実践的知識、技術が学べる。（周辺施設「研究所・王子研修センター・本社施設」の利用ができる。） ・教材にもコーセー各種ブランド商品を導入している。 ② 全コース国家試験にチャレンジ ・すべてのコースで美容師免許取得のための充実した国試対策授業が受けられる。 ③ 少人数でわかりやすく丁寧に指導。 ・プロとして誇りを持てる高度で先進的な技術をわかりやすく指導し、実践力を身につける。 ④ 責任ある進路指導で高い就職率。 ・実践教育が生んだ高い就職実績と卒業後も続く独自のサポート制度であたたかく見守る。 ⑤ よき社会人としての人づくり。 ・コミュニケーション力や人間力を高めるため日々の生活で正しい習慣を身につける。 入学者増加に伴い、長期にわたる赤字から、7 年連続黒字となり、取り組むべき課題について全教職員レベルで議論を進めている。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

1-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。

チェック項目	評価 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 理念に沿った目的・育成人材像になっているか。	5	明確に定めている。	教育理念・目的・育成人材像は、学則・学校案内パンフレット・ホームページなどで明確に示している。		学則 学校案内 ホームページ リーフレット学校
1-1-2 理念等は文書化するなど明確に定めているか。	5	文書化して毎月の教職員会議で確認している。	年度方針、パンフレットやリーフレット、ホームページ等で明確にしている。		学則 学校案内 ホームページ リーフレット学校
1-1-3 理念等において専門分野の特性は明確になっているか。	5	明確にしておき必要に応じ見直ししている。	上位下達型で、組織的な形で現場では見直し事項の徹底がされている。		学則 学校案内 ホームページ リーフレット学校 就業規則
1-1-4 理念等に応じた課程（学科）を設置しているか。	5	年度方針により教職員には周知され、学校外にも広く公表されている。	学校案内パンフレット、ホームページなどで明確に示している。		年度方針 年度事業計画 ホームページ
1-1-5 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか。	4	定めており月 1 回開催する教員会議・教職員会議で確認している。	学校案内パンフレット、ホームページ、高等学校進路指導部あて・保護者あてリーフレット等で明確にしている。	講師会で外部講師への周知徹底をお願いしている。	学則 学校案内 シラバス ホームページ リーフレット学校
1-1-6 理念等を学生・保護者・関連業界等に周知しているか。	5	周知、説明している。	学校案内パンフレット、ホームページ、高等学校進路指導部あて・保護者あてリーフレット等で明確にしている。		学校案内 ホームページ 保護者リーフレット 高等学校リーフレット

1-1-7 理念等の浸透度を 確認しているか。	4	確認している。	毎年行われる保護者会で確 認している。	今後は学生アンケートに 浸透度確認項目を入れる	保護者会 学生アンケート
1-1-8 理念等を社会等 の要請に的確に対応さ せるため、適宜、見直 しを行なっているか。	5	コースを 2 つに分け、進み たい職業を目指せる。(た だし両コース共美容師国家 資格を取得する事は開校以 来変更していない。	入学する学生・保護者及び 高等学校の進路指導部に説 明している。		学校案内 ホームページ 保護者リーフレット 高等学校リーフレット

★評価 ⇒ 4 適切 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1.不適切 NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念・教育方針・テーマを教職員全員で共有し、これを継続遂行する。	本校の教育理念は「人を美しくする技術とところを育み、誰からも愛される人材を育成する」 教育方針は、「より実践的な美容技術を高め、様々な体験を通して感性を磨き、接客に必要なコミュニケーション能力を身につける」 テーマは「自立創造」「共感 共創」

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

1-2 育成人材像は専門分野に関する業界等の人材ニーズに適合しているか。

チェック項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-1 課程(学科)毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか。	4	メイクの授業はレベルが高く充実している。	コーセーを母体とする学校なのでメイクの授業はコーセーブランドを利用し充実している。また、ビューティデザイナーコースも実践感覚を大切にした授業スタイルを取り入れている。	教員のレベルダウンがないような厚み作りが必要である。コーセー各種ブランドの教材をさらに増やす。	学校案内 メイク室 メイクラウンジ 撮影スタジオ
1-2-2 教育課程、授業計画(シラバス)等の策定において関連業界等から協力を得ているか。	4	協力、相談している。	業界及び関連協会から講師の派遣をお願いしている。	当校の教員が非常勤講師のフォロー出来るようにしたい。	学校案内 シラバス 年間カリキュラム
1-2-3 専任・兼任(非常勤)にかかわらず教員採用において関連業界からの協力を得ているか。	4	協力を得ている。	ビューティデザイナーコースのメイク常勤講師はコーセーの元美容課長をお願いしている。	非常勤講師の年齢が高くなり若返りの検討を継続する。	非常勤講師の履歴簿
1-2-4 学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか。	5	ビューティデザイナーコースは、コーセーを中心とした販売店 ヘアデザイナーコースは都内のヘアサロンで店頭実習を実施している。	1年次、ビューティデザイナーコースは11月に、ヘアデザイナーコースは2月に希望職種 of 業界に行きインターンシップ授業を実施している。		カリキュラム
1-2-5 教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか。	4	協力を得ている。	メイク教材については、コーセー美容開発部門と本校講師の間で、色やメイクブラシの検討を行い決定をしている。		教材項目一覧表

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
メイクの授業については、コーセーから派遣される特別講師により、最新のテクニックを学ぶことができる。ビューティデザイナーコースでは、コーセーで業務経験のあるビューティアドバイザーが講師として一部の授業を担当している。	コーセーのバックアップがあるという点で、周辺施設(コーセー研究所との商品アンケートなどの協力連携、コーセー王子研修センターでの授業)の活用は他校にはない特徴である。多くのブランドがあるので、それぞれの特色を生かしたでメイクの授業を実施する。
最終更新日付 2026年6月20日 記載責任者 鎌田 昌人	

1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。

チェック項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-1 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。	5	学校創立の目的は、美容業界に優秀な技術者を送り出す事は一貫して取り組んでいる。	学校設立者の精神である優秀な技術者育成を第1として、授業内容を社会のニーズに合わせた取り組みをしている。	化粧品のコーセーを母体としており、メイク授業の特色を活かした授業内容を強化する。 (メイクに関する授業は、コーセーのブランド力、知的財産を活かした授業を行なう。)	学校案内 ホームページ メイクラウンジ カリキュラム
1-3-2 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか。	4	当校は、ヘアデザイナーコースとビューティデザイナーコースがあり両コースとも美容師国家資格を取得は一貫している。	美容師国家資格を持つ学生を美容業界に送り出す事を第一の責務としている。 多種にわたる美容関連の職業に対応できる学生を技術者として育成している。	近年、美容師国家資格取得に消極的な学生も出てきており、保護者とも連携して美容師国家資格取得に向けて取り組んで行く。(美容師国家資格取得が前提の授業であることは保護者をはじめ関係に周知徹底している。)	学校案内 ホームページ カリキュラム

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
「美容師国家資格を持った学生（技術者）を美容業界に送り出す」という理念は学校創立以来一貫している。授業もコーセーを中心とした関連業界より協力を得ている。 コーセーで業務経験のある経験豊かなビューティアドバイザーが講師として一部の授業を担当しており、最新のテクニックを学ぶことができる。	コーセーのバックアップがあるという点で、コーセー研修センターでの特別授業や化粧品コーナーの設置(自由に使用出来る)などは他校にはない特徴・特色である。多くのブランドがあるのでその違いを際立たせたメイクの授業を実現したい。随時最新の教材の切り替えを図る。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

1-4 社会ニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-4-1 中期的（3～5 年程度）視点で、学校の将来構想を定めているか。	4	ヘアデザイナーコース、ビューティデザイナーコース、それぞれのコースの充実を目指している。	何が当校の特長（売り）なのか、中期的構想について、課題はわかっている。 美容師国家資格以外の取得資格についても検討したい。	外部コンサルティング入れ、現状の強み・弱みをとらえており、今後学校が進む方向を明らかにした。校名を変更した事もあり将来構想を具体化する。	カリキュラム 他校の入学案内
1-4-2 学校の将来構想を教職員に周知しているか。	4	教職員会議・教員会議を通じて議論している。	教職員会議で、学校の方向性（5 年後・10 年後の姿）を教職員各自に考えてもらい発表してきた。	まだまだ教職員の方向性を見いだせない人がいるが全員が同じ方向性を見出し共有を図る。	
1-4-3 学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか。	4	周知はある程度出来ている。	入学前のオープンキャンパス、学校説明会や入学式後の保護者説明会、授業参観日で周知している。	長期の将来像については周知できてない事もある。	学校案内 ホームページ

*

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育方針など教職員全体で年度初めに共有し、遂行している。 グローバルな視点で将来を見据えるヒントになるよう、美容英語学習や、国際美容技能認定ライセンス取得に向けてのカリキュラムなどの充実を図っている。	今まで職制レベルでの議論で進めてきた事が、外部コンサルティング会社が入り、全教職員のヒアリングの元に学校の進む方向や改善事項がハッキリした事は、全教職員の目標が共有できた。

最終更新日付

2026 年 6 月 20 日

記載責任者

鎌田 昌人

基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針については、学内で検討した方針について、理事・評議員会で承認を得て実行する仕組みが定められている。 事業計画については、基本的には年度方針をもとに計画を立てて、それに基づいて運営されている。これからは、事業計画は中・長期的な展望も併せ持った計画にしていかなければならない。 運営組織や意思決定機能については組織図を基に見える化されている。目標達成をするための会議（教職員会議・教員会議）で、全教職員の意識付けを行い情報の共有を図っている。また、決定事項については、各自の役割・担当については職務分担表で責任は明確になっているが、目標達成のために効率的且つ十分かという点ではまだまだ十分ではない。組織の活性化（誰もがどの部署でも仕事がこなせるような）人事組織のシンプル化を図る。 人事や処遇については、学校目標の達成に向けてシンプルで最低限必要な制度等の整備ができています。 しかし、外部講師はおおむね紹介に頼っており、評価を行うような段階にない。 職制会議にて意思決定はなされているが、教職員会議が意思決定の場となることもある。 学生管理、学籍簿管理、出欠管理等パソコンソフトにより、効率化が図れているが、情報システム化というほど強固なシステムはない。	運営方針については、年度方針をもとに、教職員の人事評価制度（目標設定と実績評価）に繋げることが急務である。 シンプルで運用しやすい人事評価制度（教職員が目標を立て、それに対する評価の仕組みが）を早急に運用したい。 （以前の人事評価制度は運用が難しく現在は行っていない。） 入学者確保は、少子化、大学進学率の上昇等の影響を受け大変厳しい状況であったが、近年は募集定員を超える受験者があり、5 年前に、定員数の増加申請を行い認可された。 求人環境も変化が見られ教職員について退職者が出た時に、採用が難しく期待している補充採用ができない。 役割分担表の他に意思決定に関する役割をより明確にするために、学校全体及び各組織別に職務分掌・職務権限表を作成する。 パソコンソフトを導入し学校独自のカリキュラムについても対応させ活用している。担当者が変わってもスムーズに対応できるような体制づくりをしている。

最終更新日付

2026 年 6 月 20 日

記載責任者

鎌田 昌人

2-1 理念に沿った運営方針を定めているか。

チェック項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-1-1 運営方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	明確に定めている。	年度方針については前年度12月に決定し、2月の理事・評議員会で承認を得ている。	中・長期の展望にたった運営方針が望ましい。	年度方針
2-1-2 運営方針は理念等、目標・事業計画を踏まえ定めているか。	5	明示され、伝わっている。	理事・評議員会で承認された内容を教職員に伝えている。	今後も継続する。	年度方針
2-1-3 運営方針を教職員等に周知しているか。	5	明確に定めている。	各種規定は基本的には毎年変わるものではないが、必要に応じて見直しをする。	今後も継続する。	年度方針 各課（担当）方針
2-1-4 運営方針の組織内の浸透度を確認しているか。	5	確認している。	毎月開催する教職員会議で担当者から月報告を行っている。	今後も継続する。	年度方針 各課（担当）方針

*

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学内で検討した方針について、理事・評議員会で承認を得て実行する仕組みが定められている。 単年度の運営方針だけではなく、中・長期の展望を併せ持った視点に立った運営方針でなければならない。	年度目標、方針、課題など全教職員に周知、徹底している。それを基に、部門別目標、個人別目標を設定し職務を遂行する仕組みがまだ不十分である。 個人別目標設定や目標管理、評価、人事考課などの運営管理方法が非常に難しいが、段階的に構築したい。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

2-2 理念等を達成するための事業計画を定めているか。

チェック項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-2-1 中期計画(3～5年程度)を定めているか。	4	中長期の事業計画は常に環境を見守りながら進めている。	年度方針に対する事業計画が作成されている。	単年度だけではなく、中期計画も策定したい。	年度方針 事業計画 課方針(目標)
2-2-2 単年度の事業計画を定めているか。	4	基本的には事業計画に沿って運営されている。	学生募集については当初の目標は達成された。	入学定員の増加認可後には新しい目標の検討が必要。	年度方針 事業計画 課方針(目標)
2-2-3 事業計画に予算・事業目標等を明示しているか。	4	明示している。	理事・評議委員会で承認された、事業計画・予算書は明示している。		年度方針 事業計画 課方針(目標) 予算書
2-2-4 事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか。	4	明示している。	年度初めに各部署ごとに提出し、共有の場を設けている。	職務分掌・職務権限表が全教職員に設定されている。	職務分担・職務権限表
2-2-5 事業計画の執行、進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確しているか。	5	状況を常に確認し、優先順位を考慮して、進めている。	理事会にて、事業計画を共有し、実行すると共に、突発的な事案については、責任者会議にて共有し、遂行している。	教職員会議で担当者の報告により把握しながら、進めている。	
1-3-2 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか。	4	当校は、ヘアデザイナーコースとビューティデザイナーコースがあり両コースとも美容師国家資格を取得は一貫している。	美容師国家資格を持つ学生を美容業界に送り出す事を第一の責務としている。 多種にわたる美容関連の職業に対応できる学生を技術者として育成している。	最近入学の学生は、美容師国家資格取得が苦となる学生もいるようで、保護者とも連携して全員が美容師国家資格取得に向けて取り組んで行く。(美容師国家資格取得が前提の授業であることは保護者をはじめ関係に周知徹底している。)	学校案内パンフレット ホームページ カリキュラム

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
基本的には、年度方針をもとに事業計画・予算書を立案して、理事会・評議員会で承認され、それに基づいて運営されている。	当校の優位性(コースが母体であるという強み)を強調した募集活動、カリキュラム・募集要項の刷新を図り、継続推進していく。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

2-3 設置法人は組織運営を適切に行っているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-3-1 理事会、評議委員会は、寄附行為に基づき適切に開催しているか。	5	適切に開催している。	寄附行為に基づき 2 ヶ月前に理事会・評議員会の開催案内を発送している。		開催案内書 理事会・評議員会議事録 理事会・評議員会資料
2-3-2 理事会等は必要な審議を行い、適切な議事録を作成しているか。	5	作成している。	開催資料は、10 日前に理事・評議員・監事に送り一読していただいた上で開催し、議事録を作成している。		開催案内書 理事会・評議員会議事録 理事会・評議員会資料
2-3-3 寄附行為は、必要に応じて適切な手続きを経て改正しているか。	5	明確になっている。	監督官庁に適切な手続きを行っている。 理事会、評議員会にて協議を行い、決定している。		寄附行為 理事会、評議員会議事録

*★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
寄附行為は重要な事であり、適切な手続きによる改正は、寄付行為に基づき運営している。	当校の理事・評議員は美容師経験の先生が主となり、日頃より支えていただいているが、2023 年度より、(株) コーセー執行役員：美容開発部長が理事に就任し、より様々な角度から当学園へのご意見を頂戴できる体制となっている。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

2-4 学校運営のための組織を整備しているか。

チェック項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか。	4	整備している	毎週、職制会議を実施し、課題の共有化、方向性の協議を行っている。		組織図 職職務分掌・職務権限表 職務分担表
2-4-2 現状の組織を体系化した組織規定、組織図等を整備しているか。	4	組織規程や組織図は整備している。	就業規則及び付属規定に従い、職能別人事評価する機能がある。	職務分担を明確にして担当者と十分な打合せを行う事によりスムーズな運営を行う。	組織図 職務分掌・職務権限表 職務分担表
2-4-3 各部署の役割分担、組織目標等を規定等で明確にしているか。	4	組織図作成 職務分掌・職務権限表等で明確にしている。	業務を明確にし、進めている。	組織集団が小規模でそのニーズが薄い。 より細かな進捗状況共有を行う。	組織図 職務分掌・職務権限表 職務分担表
2-4-4 会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規定等で明確にしているか。	4	組織図作成 職務分掌・職務権限表等で明確にしている。	それぞれの権限等を明確にし、進めている。	学校経営に対し、一人ひとり意識欠如がみられる。	組織図 職務分掌・職務権限表 職務分担表

*★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

チェック項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-5 会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか。	4	都度、部署ごとに項目を共有している。	教職員会議・教員会議など議事録は整備されていない。		
2-4-6 組織運営のための基礎機能・規定等を整備しているか。	4	整備している。	組織運営は面談等を通して観察している。		職務分担表 就業規則
2-4-7 規則・規定等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか。	4	改正している。	現状合わせて改正している。		就業規則
2-4-8 学校の組織運営に携わる事務職員意欲及び資質の向上への取り組みを行っているか。	3	行っている。	教職員会議		

★評価 ⇒5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教職員会議時、全教職員が一丸となって取り組む事を明確にしており、共有されている。また、各クラスの状況や問題点など、共有のインフォメーションへファイルへの入力を徹底し、状況によっては、都度関係メンバーとミーティングを行うなど、場を設けている。教職員会議：月 1 実施、全体朝礼：毎週木曜日朝実施。	組織集団が技能職中心であり、組織としての活動・管理に不慣れな面が見られる。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

2-5 人事・給与に関する制度を整備しているか。

チェック項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-1 採用基準、採用手続きについて規定等で明確化し、適切に運用しているか。	4	ある程度、適切に運用している。	採用基準については、面接前に面接官が確認。採用手続きについては募集要項に明確になっている。	規定などで明文化し、共通認識を持つべき。	面接用シート 募集要項
2-5-2 適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか。	4	確保している。	意思の決定は、職制会議で実施している。	意思決定を実施するにあたり、トップに対する依存度が高い。	入学相談室の報告レポート
2-5-3 給与支給等に関する基準・規定を整備し、適切に運用しているか。	5	適切に運用している。	就業規則及び付属規定に従い、賃金テーブルを基に管理している。		就業規則 賃金基準線表等
2-5-4 昇任・昇給の基準を規定等で明確化し、適切に運用しているか。	4	適切に運用している。			就業規則
2-5-5 人事考課制度を規定等で明確化して、適切に運用しているか。	3	人事考課制度を再構築検討している。	全体目標の進捗は、教職員会議にて共有するなど、漏れの無いよう進めている。	現状に合った制度にしてシンプル化して運用する。 (目標管理に不慣れ、仕組みが複雑、考課者訓練の必要等)	就業規則

★評価 ⇒5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事・給与に関しては就業規則に定めており運用している。 目標管理・評価は、教員については最低限必要な制度等の整備ができているが、運営段階で十分機能していない制度がある。	人事評価は、組織集団が技能職中心であり組織としての活動・管理に不慣れな面が見られる。 「目標管理」・「評価基準」を見直し、より公正な人事評価に結びつける。 簡略化した人事考課を検討する。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

2-6 意思決定システムを整備しているか。

チェック項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-6-1 教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか。	5	整備している。	パソコンソフトを導入し学籍簿などの管理を実施、教材等もパソコンにより作成するものが多い。	必要に応じて、改善を図る。	
2-6-2 意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか。	4	明確になっている。	重要事項の最終決定は校長が行っているが、代行が行う場合がある。	各部門において、整備し、明確になっている。	組織図 職務分担・職務権限表
2-6-3 意思決定システムは規則・規定等で明確にしているか。	4	明確になっている。	意思決定は、責任者会議で行い、最終決定は校長である。	各部門において、整備し、明確になっている。	組織図 職務分担・職務権限表

★評価 ⇒5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定システムは主に職制会議を中心に行っている。	校長と職制の意思決定に関する役割分担をより明確にする必要がある。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

2-7 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか。

チェック項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-1 学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか。	4	システム構築をしている。	学籍簿などの管理や教材等もパソコンにより作成するものが多い。	必要に応じて、改善を図る。	平成 25 年 10 月に私学財団より情報システムを一新して補助金をもらう。
2-7-2 情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか。	4	行なわれている。			
2-7-3 学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか。	5	活用している。	就職情報を強化している。企業から届く求人情報を学生がパソコンで見られるようにしている。		
2-7-4 データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか。	4	行っている。	データの更新は、最新の情報を基本で行っている。		
2-7-5 システムのメンテナンス及びセキュリティ管理を適切に行っているか。	5	行っている。	情報システム担当者が業者と連絡をとりながらメンテナンス及び管理を行っている。	コーセーの情報システム傘下で、セキュリティ管理を強化する検討を行う。	

★評価 ⇒5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生管理、学籍簿管理、出欠管理等パソコンソフトにより、効率化が図れている。ICT チームにて現状の問題点などを改善するためのミーティングを開き、動いている。	カリキュラム、学籍簿等システムに対応させ、活用している。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

基準 3 教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各コースの教育目標、人材育成像については、歴史があり、業界の人材ニーズに向けて方向付けされている。 ヘアデザイナーコース・ビューティデザイナーコースは、それぞれのコースにおいて美容業界の動向をにらみながら細部の見直しを行っている。 教育目標、人材育成像を構成する知識、技術、人間性等は、年度方針、教務部方針の中で、具体的な方法・手段を明確に定めている。 学科のカリキュラムについては、体系的に編成されているが、外部者の意見はあまり反映していない面もある。また、課目によっては外部講師に依存しておりカリキュラムを編成する体制については担当者まかせである。 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正に位置付けされている。指導内容、方法等を示したシラバスが作成されている。 一コマ毎に授業シラバスが作成されている。 授業評価の実施・評価体制については必要な制度等の整備はまだ出来ていない。 要件をそなえた教員の確保については、教員の教授力を適宜把握しており研修はときどき実施している。教員間での協業は国家試験対策会議、講師会等で実施している。非常勤講師間では講師同士にまかせているので、時には学校主導で行う必要がある。 成績評価・単位認定の基準については、明確であり、学生への告知もステューデントマニュアルで行っている。 目標とする資格はカリキュラム上で明確に定めている。学科、実技ともに明確に定めている。教員と外部講師との連携が図られ、サポート体制もできている。 附帯教育事業における、通信課程については、教育体制を明確にし、入学者、退学者の管理がきちんとなされている。	ビューティデザイナーコースの入学者の減少傾向が見られる。 同様のコースを他校が増設してくるので、当校の特徴（コーサーのバックアップの内容等）をより強化する必要がある。特にメイクについては特徴をだしたい。 ビューティデザイナーコースは、メイクのみならず、ビューティベーシック（フェイシャル、接客接遇マナー等）、化粧品検定など幅広く受講科目を設けている。 ヘアデザイナーコースは、よりバラエティで魅力的なカリキュラムを構築し、美容英会話を導入し、2年次選択授業でシティ&ギルズ国際美容ライセンス取得も可能となった。 教員研修については「教員力」をつけるため、外部講習への参加を徐々に増やしている。また外部講師を招聘して学内での講習も実施している。その他講習会も積極的に参加させる。 非常勤講師については、時には、学校主導で協業することが必要であると考えている。 通信課程については、春入学の効果が見られず年々学生数が減少している。2019年度より募集休止して昼間課程に注力したいと考えている。

3-1 理念等に沿った教育課程の編成方針・実施方針を定めているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-1-1 教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	5	正しく方向付けられている。	定められた授業時数を含めた方針がある。		学校案内 パンフレット
3-1-2 職業教育に関する方針を定めているか。	5	定めている。	指導内容、方法等を示した形で作成されている。		シラバス

*★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学科の各科目は、カリキュラムの中で適正に位置付けされている。 指導内容、方法等を示したシラバスが作成されている。 一コマ毎に授業シラバスが作成されている。	ビューティデザイナーコースの入学者は減少傾向にある。 同様のコースを他校が増設してくるので、当校の特徴（コーセーのバックアップの内容等）をより強化する必要がある。特にメイクについては内容を充実したい。 メイク教材のブランドを増やす。 このコースはメイクのみならずビューティベーシック（フェイシャル、接客接遇マナー）、化粧品検定も範疇に入る。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

3-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-2-1 学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	5	明確に定めている。	年度方針、教務課方針の中で、明確に定めている。		年度方針 教務課方針
3-2-2 教育到達レベルは、理念等に適合しているか。	5	適合している。	当校は一貫して美容師国家資格は、全学生が取得することとしている。		年度方針 教務課方針
3-2-3 資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。	5	明確にしている。	教員、外部講師の連携が図られ、サポート体制ができている。		カリキュラム
3-2-4 資格・免許取得を教育レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を準備しているか。	5	準備は万全である。	教員、外部講師の連携が図られ、補修授業をレベルに合わせ実施している。		カリキュラム

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度方針、教務課方針の中で、具体的な方法・手段を明確に定めている。目標とする資格はカリキュラム上で明確に定めている。学科、実技ともに明確に定めている。教員と外部講師との連携が図られ、サポート体制もできている。	美容業界に就職するにあたり、知識・技術・人間性。資格取得は重要事項である。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-3-1 教育課程を編成する体制は、規定等で明確にしているか。	5	十分かつ体系的に編成されている。	教員・講師からのシラバスに基づき、十分かつ体系的に編成されている。		学則 シラバス
3-3-2 議事録を作成するなど教育課程の編成課程を明確にしているか。	4	普通のレベルである。	外部者の意見を参考にして反映していない。課目によっては、外部講師にお願いしている。		講師会（年1回）
3-3-3 授業科目の開設において、専門科目・一般課目を適切に配分しているか。	4	配分している。	管理担当者がシラバスを管理している。		学則
3-3-4 授業科目の開設において、必須科目・選択科目を適切に配分しているか。	5	配分している。	必要な科目について職制会議で見直している。	必要な科目は今後も見直して行く。	学則
3-3-5 終了にかかる授業時数、単位数を明示しているか。	5	明示している。	監督官庁の規定より多くの授業時間数、単位は多い。		学則
3-3-6 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。	5	提供している。	新学期に行うオリエンテーション等また随時実施している。		学則 学校案内
3-3-7 授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。	5	選択している。	カリキュラムで設定されている。		シラバス カリキュラム

3-3-8 授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。	5	問題はない。			シラバス カリキュラム
3-3-9 職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。	5	配分している。			シラバス カリキュラム
3-9-10 職業実践教育の視点で、教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。	5	工夫している。			シラバス カリキュラム
3-9-11 単位制の学科において履修科目の登録について適切な指導をおこなっているか。	5	行っている。			シラバス カリキュラム
3-9-12 授業科目について授業計画(シラバス・コマシラバス)を作成しているか。	5	作成している。	問題はない。		シラバス カリキュラム
3-9-13 教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。	5	行っている。	美容業界の動向を見ながら改定している。		シラバス カリキュラム

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
カリキュラムについては、体系的に編成されている。 時には外部者の意見も反映するようにフレキシブルに対応する。課目によっては、外部講師をお願いしている。カリキュラムを編成する体制については、担当者にまかせ、見直しは必要な課目について教員会議等で見直しをしている。	職業実践教育の目的・目標に沿った教育課程を編成する事は重要事項である。学生より、講師授業のアンケートを実施して、教育内容・教育方法・教材等の参考にして改善している。 学生の就職先の動向も注意している。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

3-4 教育課程について外部の意見を反映しているか。

点検小項目	点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-4-1 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	2	充分でない。	卒業生にアンケートを実施したが正確にできなかった。		
3-4-2 教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。	2	充分でない。	就職先の一部から評価はいただいている。		
3-4-3 職業実践教育について、卒業生・就職先等の意見徴収や評価を行っているか。	2	充分でない。	就職先の一部から評価はいただいている。	卒業生・就職先等の意見徴収や評価をいただく事は難しい。	

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育課程全体について外部の意見を聞くことは難しく一部から評価をいただいている。	卒業生にアンケートを実施したが正確にできなかった。 卒業生・就職先等の意見収集や評価をいただく事は難しい。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

3-5 キャリア教育を実施しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-5-1 キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	4	定めている。	教育理念、教育方針、年度目標		教育理念 教育方針 年度目標
3-5-2 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	4	体制はある。	教科単位にシラバスは作成している。		教科別シラバス 授業アンケート 業績評価表
3-5-3 キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴収や評価を行っているか。	2	充分でない。			

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学科の各科目は、カリキュラムの中で適正に位置付けされている。 指導内容、方法等を示したシラバスが作成されている。 一コマ毎に授業シラバスが作成されている。	特に問題なし

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

3-6 授業評価を実施しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-6-1 授業評価を実施する体制を整備しているか。	4	整備している。	学生アンケートを実施している。		
3-6-2 学生アンケート等の実施など、授業評価しているか。	4	評価している。	学生アンケートを実施している。	アンケート内容やフィードバック方法の見直しを図りたい。	
3-6-3 授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。	2	充分でない。			
3-6-4 教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。	3	使用している。	非常勤講師だけ使用している。	教員の業績評価にも繋げていきたい。	

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生による授業評価は実施しているが、教職員・講師に対するフォローが満足にできてない。 学校を運営する組織だった把握や評価をする体制を築く。	講師に依頼している教科についてはシラバスを含めて講師任せになっていることもある。 学外学習、インターンシップについては相手先からの評価をもらい確認する体制ができている。 今後も同様に継続実施して行く。

更新日付

2026年6月20日

記載責任者

鎌田 昌人

3-7 成績評価・終了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-7-1 成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	5	実施している。	成績評価、終了認定基準は明確化している。また学生にも明示している。		ステューデントマニュアル 判定会議録
3-7-2 成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか。	5	体制は整えている。	成績評価基準に則り、校長、副校長、教務課長で判定会議を行っている。	非常勤講師のシラバスの内容は担当教員に任されており、教務課長・教務主任がもう少し講師と協議する必要がある。	ステューデントマニュアル 判定会議録
3-7-3 入学前の履歴、他の教育機関の履修の認定について学則等に規定し、適切に運用しているか。	5	運用している。			学則

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ステューデントマニュアルにて、成績評価の基準や追試、補講の説明、進級・卒業に必要な単位の明確化を行っている。	一年生の進級、二年生の卒業認定において、判定会議での基準が明確になっている。

更新日付

2026年6月20日

記載責任者

鎌田 昌人

3-8 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-8-1 在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	4	実施している。	校内及び対外コンテスト表彰結果は、校内学生集会で校長より表彰しており、また理事会・評議員会でも報告している。	対外コンテストの参加人数を多くしたい。	コンテスト受賞一覧表

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
校内コンテストは制作発表会及び学園祭で外部来園者の投票も含め実施している、外部コンテストは希望者に対し担当教師がフォローしているが、より積極的に参加し他校レベルを認識することにより、自分のレベルアップに繋げて欲しい。	

更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
------	------------	-------	-------

3-9 目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置づけているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-9-1 取得目標として いる資格・免許の内容、 取得意義について明確 にしているか。	5	明確になっている。	学校案内やステューデント マニュアルでも明らかにし ている。		学校案内 ステューデントマニユ アル
3-9-2 資格・免許の取得 に関する授業科目、特 別講座の開設等につ いて明確にしている か。	5	明確にしている。	授業科目や意義を明確にし ている。		カリキュラム

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
取得する資格は、学校案内やステューデントマニュアルで明確にしている。	美容師国家資格は、全学生が取得することはもちろん美容業界で必要とされる資格は取得に向けての授業及び意義を明確にしている。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

3-10 資格・免許取得の指導体制はあるか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか	4	明確に定められている。	学科、実技ともに明確に定めている。		
3-10-2 不合格者及び卒業後の指導体制を整備しているか。	4	サポート体制ができている。	教員、外部講師の連携が図られ、サポート体制ができている。		

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
目標とする資格はカリキュラム上で明確に定めている。美容師国家資格は学科、実技ともに明確に定めている。教員と外部講師との連携が図られ、サポート体制もできている。	就職するにあたり資格取得は大きなテーマ。 この体制を維持して行きつつ、今後、美容業界で求められる資格取得に向けて増やしていきたい。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

3-11 資格・要件を備えた教員を確保しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-1 授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	5	明確にしている。	採用時に、必須要件をもとに判断している。		教員履歴書 資格証明書
3-11-2 授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。	5	確認している。	採用時に、必須要件をもとに判断している。		教員履歴書 資格証明書 監督官庁教員届
3-11-3 教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。	4	適合している。	学生評価を実施している。		学生アンケート 授業参観アンケート
3-11-4 教員採用等人材確保において、関連業界と連携しているか。	3	連携している。	紹介を受けている。		
3-11-5 教員採用計画・配置計画を定めているか。	4	定めている。	事前に定年・退職者を把握して採用計画及び配置計画を行っている。		教職員採用計画
3-11-6 専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。	5	明示している。	教員、講師一覧表を作成している。		担当講師一覧

3-11-7 教員募集、採用手段、昇格措置等について規定等で明確に定めているか。	5	定めている。			
3-11-8 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	4	適切に協議している。		今後も実施予定。	
3-11-9 非常勤講師間で適切に協業しているか	3	協業している。	講師同士で行なっている。	時には学校主導で行う必要がある。	

★

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員の指導力・教員力を適宜把握している。 研修はときどき実施している。 教員間での協業は国家試験対策会議、講師会等で実施している。非常勤講師間では、講師同士にまかせているので、時には学校主導で行う必要がある。 非常勤講師の採用基準は明確である。	教員の「指導力」「教員力」のブラッシュアップは公開模擬授業にてチェックしている。 外部研修については増やすことを考えている。 非常勤講師については、時には、学校主導で協業することが必要であると考えている。 キャリアのある非常勤講師の国家試験合格率は高く安定しているが、高齢化が気になり安心感がない。タイミングを計りながら世代交代も考える。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

3-12 教員の資質向上への取り組みを行っているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-12-1 学科の育成目標 に向け授業を行うこと ができる要件(専門性・ 人間性・教授力・必要 資格等)を備えた教員 を確保しているか。	5	確保している。	採用時に、必須要件をも とに判断している。	他校に比べると取得でき る資格が少ない。	資格証明証
3-12-2 教員の専門性レ ベルは、業界レベルに 十分対応しているか、 また教員の資質向上に 取組んでいるか	4	サポート体制ができている。	個々人の判断と努力に任 されており、組織的な対応も 整備されている。	積極的に外部講習会に参加 したり、適宜に公開授業の 実施をおこなう。	資格証明証

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教員の教授力を適宜把握している。研修は積極的に参加している。 教員間での協業は国家試験対策会議、講師会等で実施している。	教員の「教員力」ブラッシュアップは公開授業にてチェック、研修については増やすことを考えている。 非常勤講師については、時には、学校主導で協業することが必要であると考えている。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

3-13 生涯学習に対して積極的に取り組んでいるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-13-1 生涯学習に対して積極的に取り組んでいるか	NA				
3-13-2 聴講生制度はあるか	NA				
3-13-3 生涯学習に関連する講座の開設・受講の状況・推移を正確に把握しているか	NA				

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

基準 4 学修成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職に関する目標に関しては、ヘアデザイナーコースでは求人数が卒業生数を大きく上回り、就職希望者全員の就職が達成されており、また、その情報も明確に把握されている。ビューティデザイナーコースでは、コロナウィルスの影響で求人数が一時激減したが、アフターコロナとなり現在求人数が増加しつつある。 昼間部における美容師資格取得に関しては、合格率 100%の年もあるが、昨年度は 97.1%であった。（実技：合格率 100%、学科合格率 97.1%、総合合格率 97.1%で、全国平均合格率 87%を 10 ポイントも上回る好成績を残すことができた。） 退学率の低減に関しては、担任を含め全教員で対応しており、減少している。 入退学者数及び退学者の推移に関する情報は明確に把握し、毎年、理事会・評議員会で報告している。 卒業生・在校生の社会での活躍については、全員とは言えないが、ほとんどが評価を得ている。 特筆すべきものとしては、コーセー販売職での活躍、美容室経営、コンテスト入賞等がある。在学生については、対外コンクールに積極的に参加するようバックアップしており、S P C（全日本理容美容選手権中央大会）、レジーナフォトコンペティション、ユーカリジャパンデザイナーズアワード、ラグゼビューティヘア&メイクフォトコンテスト等で結果を残している。	当校独自性の強化に関する事業に、高就職率（100%）を実現する。 国家試験においても高いレベルの合格率を維持している。 退学者の低減を目標に掲げたが、昨年度の退学率は 8.2%となっている。進路変更、病気、経済などそれなりの理由はあるが、大切なのは日頃のクラス運営、生活指導を通しての学生との「向き合い方」・「教員力」によって改善は可能である。 在学生については、今後も外部のコンテストにより積極的に参加させる。 卒業生については、情報入手に心がけ、在校生へのアドバイスやエールをお願いし、必要ならばバックアップ体制もとる。 同窓会活動では、2024 年 8 月に第 5 回目の同窓会総会を本校で開催した。150 名近い参加で非常に好評であった。次回は 2027 年度を予定している。 毎年 12 月は、「同窓会報」を発行して同窓会員に送付している。今後も年 1 回の発行を継続して「絆」を強くする。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

4-1 就職率の向上が図られているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-1-1 学生の就職に関する目標を達成したか	4	ほぼ目標達成している。	過去から、ほぼ就職希望者全員の就職が達成されている。		就職先名簿
4-1-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	明確に把握している。	卒業生の就職先情報は明確に把握している。		

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職に関しては、就職希望者のほぼ全員の就職が達成されている。 ヘアデザイナーコースは約 5,000 店舗を超える求人があり、ビューデザイナーコースは化粧品企業・コーセーグループを中心に採用があり、例年高い就職率となっている。アフターコロナとなり求人数は増加傾向となっている。	毎年、理事会・評議員会で就職状況を報告している。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

4-2 資格・免許取得の向上が図られているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-2-1 資格取得に関する目標を達成したか	3	普通	昼間部の美容師資格取得は昨年 97.1%の合格率であった。	適宜に国家試験担当者から、学内において技術指導を受けようようにしたい。 毎年、合格率 100%をめざしている。	
4-2-2 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	明確に把握している。	毎年のデータがあるので、その推移も把握している。	国家試験担当者とのコミュニケーション（意見交換）も必要。	

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
昼間部における、美容師資格取得に関しては、毎年目標を掲げ、全国合格率を上回る合格実績となっている。 今後はコンスタントに 100%達成出来る体制が必要であると考え。	今後も高いレベルの合格率を維持したい。 毎年、合格率目標 100%をめざす。 毎年、理事会・評議員会で就職状況を報告している。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

4-3 卒業生の社会的評価を把握しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-3-1 卒業生は社会で活躍し、評価を得ているか	4	全員とは言えないが、活躍し、評価を得ている。	評価を得ている。大手化粧品メーカーのインストラクターや大手美容室の店長、メイクアップアーティストも活躍している。		卒業生名簿 就職先名簿
4-3-2 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	4	記述できる。	コーセーでのグループで活躍、美容室経営、コンテストの入賞。		「MISS」 「オレンジページ」 「スタイル」など 各種出版物の表紙や作品 「コーセー社内報」

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生については、全員とは言えないが、ほとんどが評価を得ている。特筆すべきものとしては、コーセーでの活躍、美容室経営、コンテスト入賞等がある。在学生については、S P C（全日本理容美容選手権中央大会）、レジーナフォトコンペティション、ユーカリジャパンデザイナーズアワード、ラグゼビューティヘア&メイクフォトコンテスト等で結果を残している。	卒業生については、情報入手に心がけ、必要ならばバックアップ体制もとる。同窓会組織が始動した。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

基準 5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の就職・進学指導に関しては、進路指導担当が中心となり、担任も個別に対応している。説明会については授業の中で外部企業・機関への参加、当校での説明会の開催等、毎年実施している。個別相談や履歴書の書き方、模擬面接も実施、指導している。 学生相談に関しては、担任、学校医、スクールカウンセラーが対応している。 当校が認定校となっている「高等教育の学費支援制度」に加え、コーセー学園独自の支援制度もある。 募集時期を明確にし、希望者はもれなく応募できる体制をとっている。 学費の分納制度等については、学生・保護者からの要望を受け入れるようにしている。 ボランティア活動、課外活動に対しては、積極的に取り組むようにしている。美容技術を用いた施術を近隣の福祉施設でメイクアップやフェイシャルケア等を行っている。 特に学業不振者、出欠状況の悪い学生については、都度本人に連絡を取り、保護者にも協力をお願いしている。 2021 年度から「校医」「スクールカウンセラー」を新たに採用している。	外部への参加や説明会の開催は順当に実施されているので、今後も同様に実施する。 今後もこの体制を継続する。 高就職率を維持するためにサロンや企業（化粧品会社）への会社訪問を積極的に行なっている。 ボランティア活動については、今年度も近隣の福祉施設でネイルケア、メイクアップの施術を実施予定である。 出欠状況が悪い学生は、退学にならないよう保護者に連絡を取り、状況説明し、保護者の協力をお願いしている。 再就職等で学校を頼ってくる学生にはフォローアップしている。 同窓会は組織のメンテナンス、規約の変更や組織の建て直しを行い総会や機関紙の発行を実施している。今後は就職支援にまで結びつけて行きたい。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

5-1 就職等進路に関する支援体制を整備しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-1-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5	有効に機能している。	組織として、進路指導担当が活動している。	特になし	
5-1-2 就職に関する説明会を実施しているか	5	実施している。	就職ガイダンス等の説明会は1年次から実施している。	特になし	
5-1-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	5	実施している。	進路指導担当及び担任が実施している。	特になし	
5-1-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	5	実施している。	トータルビューティの授業で実施している。また、担任及び進路指導担当が指導している。	特になし	

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の就職・進学指導に関しては、進路指導担当が中心となり、担任も個別に対応している。説明会については授業の中で外部機関への参加、当校での開催等、毎年実施している。個別相談や履歴書の書き方も指導している。模擬面接も行なっている。	順当に実施されているので、このまま同様に実施する。 高就職率を維持し、資格や技術が活かされるサロンや化粧品企業はもちろん、美容関連企業へ積極的に会社訪問をおこなうよう指導する。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

5-2 退学率の低減が図られているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-2-1 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	機能している。	2021 年度から担任とスクールカウンセラーの連携を強化している。		
5-2-2 学生相談室を開設しているか	4	都度、対応している。	2021 年度から担任とスクールカウンセラーの連携による開設のお知らせを図る。		
5-2-3 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	5	専用カウンセラーがいる。	2021 年度からスクールカウンセラーを採用した。		
5-2-4 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	NA	留学生はいない。			

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生相談に関しては、担任と近くの心療内科と契約して、専任カウンセラーがいる。 2026 年度 退学率 5%未満をめざす。 入退学者数とその推移に関する情報は毎年、理事・評議員会で報告している。	学校内に専任カウンセラーを配置していたが、受診希望がいなくなり、近くの心療内科科と契約して、専任カウンセラーと学生が気軽に好きな日時に受診できるようにした。校内でなく秘密が守られるため好評である。 2022 年度から新たな校内専用カウンセラーを採用しており、安心感に繋がっている。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

5-3 学生相談に関する体制を整備しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-3-1 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	5	有効に機能している。	国・都・学校独自の奨学金、その他提携している民間の教育ローンを紹介している。		入学案内 募集要項
5-3-2 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	5	有効に機能している。	学校独自の学費支援制度。毎年 4 月オリエンテーションで制度の説明している。募集時期に学生掲示板に掲載して応募できる体制をとっている。	資格条件を維持し、失格しないように指導する。(出欠状況で資格がなくなる場合がある。)	学費支援制度
5-3-3 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	5	有効に機能している。	学費分割納付制度は、奨学金利用者と申し入れがあれば要望を受け入れるようにしている。	オープンキャンパスでの保護者説明会、入学時の保護者説明会で分割納入制度について説明しており、今後も継続する。	入学案内 学費分割制度

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
募集時期を明確にし、希望者がもれなく応募できる体制をとっている。国の奨学金制度に加え、コーセー学園独自の学費支援制度もある。 学費分割納付制度については、学生・保護者からの要望を受け入れ保護者と覚書を交わし、学費自動引き落としを 2020 年度より実施した。2020 年度より高等教育の修学支援新制度の認定校となっている	学生の個人的問題ではあるが、奨学金受給資格条件を維持できるように指導する。 奨学金・学費分納・高等教育の修学支援新制度については、オープンキャンパス・説明会等で話しをしている。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

5-4 学生の健康管理を行う体制を整備しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-4-1 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	5	定期的に実施している。 要精検者には学校医が、対象者と面談して対応している。 「紹介状」を渡し検査を指示している。	毎年4～5月実施 個人結果は学校医が確認し、要精検者は呼んで話をし、場合によっては紹介状を書いて再検診をさせている。 健康診断結果票は、保護者に送付している。		健康診断書
5-4-2 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	5	有効に機能している。	「健康相談・メディカルステーション」→毎月1回、学校医により自己申告で受けられる。 スクールカウンセラーが毎月3回来校している		メディカルステーション スクールカウンセラー (申込書、診断結果票)
5-4-3 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	2	非常勤で学校医が毎月1回2時間来校している。2021年度からは、スクールカウンセラーが毎月3回来校している	学校医による「メディカルステーション」「スクールカウンセラー」学生掲示板に自己申告用紙を設置している。		学則 学校案内パンフレット 学生掲示板

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
新型コロナウイルス感染拡大により、感染防止策に努めた。 2021年度にはスクールカウンセラーを導入した。	4～5月の健康検診は、学生全員が受診対象。 (欠席した場合、近くの内科医院で健康検診を実施する体制がある。) 風邪流行時に加湿・空気清浄機を各教室に導入して風邪対策を実施している。 2021年5月より新しい学校医が毎月来校する事となった。

最終更新日付

2026年6月20日

記載責任者

鎌田 昌人

5-5 学生の課外活動に対する支援体制を整備しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-5-1 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか。	3	機能している。	福祉施設でネイルケア、メイクアップの施術を実施		

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
	学生参加のボランティア活動については、今年度も近隣の福祉施設でネイルケア、メイクアップの施術を実施予定である。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

5-6 留学生に対する相談体制を整備しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-6-1 留学生に対する 受入・生活環境支援は 行われているか	NA	留学生の受入れは行っていない。			

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現在、当校は留学生の受入れは行っていない。 将来の課題であると考えている。	

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

5-7 学生寮の設備などの生活環境支援体制を整備しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-7-1 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか、保護者と適切に連携しているか	4	適切に連携している。	当校独自の学生寮はないが、遠方地域の学生はオープンキャンパスや保護者説明会で保護者に提携している民間業者の食事付寮の紹介及びアパートを紹介している。		募集要項学校案内

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校独自の寮設備はなく、提携している民間の業者を紹介している。 食事付き寮 3 業者、手数料免除・割引など 6 不動産業者を紹介している。	

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

5-8 保護者との連携体制を構築しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-9-1 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか。	4	開催している。	入学式後に保護者会及び授業参観日の保護者面談で実施している。		保護者会記録簿 保護者面談記録簿
5-9-2 個別面談等の機会を保護者に提供し、面接記録を適切に保存しているか。	4	保存している。	保護者会、授業参観日記録簿をとっている。		卒業生名簿
5-9-3 学力不足、心理面等の問題解決にあたって保護者と適切に連携しているか。	5	連携している。	担任が保護者に電話で連絡している。 成表は半期毎に保護者宛に郵送している。		成績簿
5-9-4 緊急時の連絡体制を確保しているか。	5	確保している。	急病等発生した場合保護者に連絡している。		緊急連絡先 学生名簿

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
特に学業不振者、出欠状況の悪い学生については、都度連絡をとり、保護者にも協力をお願いしている。	出欠状況が悪い学生は、退学にならないよう保護者に連絡し、状況説明して、保護者の協力をお願いしている。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

5-9 卒業生への支援体制を整備しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-9-1 同窓会を組織し、活動状況を把握しているか。	4	毎年、役員会・代議員会を実施している。	コーセー学園同窓会組織は（2007年9月11日創設）学校が事務局代行となり規約・組織の再構築を終えた。	3年に一度の同窓会総会を開催している。 同総会報紙「Espoir」を毎年発刊している。	同窓会規約 同窓会機関紙 同窓会役員名簿 同窓会名簿
5-9-2 再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか。	3	対応している。	再就職等で学校を頼ってくる学生にはフォローアップしている。 積極的な卒業生（職場訪問）を実施している。	学校の教育設備を使用した卒業生のキャリアアップ図りたい。	卒業生名簿 就職先名簿
5-9-3 卒後のキャリアアップのための講座等を開講しているか。	1	開講していない。			カリキュラム
5-9-4 卒後の研究活動に対する支援を行っているか。	1	行っていない。			

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生に対する支援は同窓会が中心で今後対応を考えたい。	同窓会組織のメンテナンス（規約・組織）を図り土台が出来た。 機関紙を毎年発行している。 再就職等で学校を頼ってくる学生にはフォローアップしている。 同窓会組織に働きかけ入学者確保への協力をお願いしている。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

5-10 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-10-1 関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか。	1	行っていない。			
5-10-2 学会研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか。	1	行っていない。			

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
コーサーと協力関係が出来るのではと思う。	今後の課題であると考えている。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

5-11 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-11-1 社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか。	5	適切に認定している。			入学者名簿
5-11-2 社会人学生に配慮し、長期履修制度を導入しているか。	4	導入している。			
5-11-3 図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか。	5	配慮している。			
5-11-4 社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を行っているか。	4	行っている。			卒業生名簿 卒業生就職先名簿

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
昼間課程は社会人経験者の入学は、まれであるが高等学校と同じ扱いである。 通信課程は社会人経験者の入学は見られるが昼間課程と同等に取扱いしている。	昼間課程の社会人経験書の入学を推進する事が課題である。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
施設、設備は、美容師資格取得のためには十分対応できており、メンテナンスも専任業者との契約で実施している。 学外学習、インターンシップについては相手先からの評価をもらい確認する体制ができている。 海外研修については、コロナウィルス蔓延により、暫く中止としていたが、2025 年度再開した。 運営母体である（株）コーセー及び東京都北区防災課、王子消防署、王子警察署、北区堀船町会と協力、指導のもと東日本大震災を教訓に首都圏直下型地震にも対応できる防災計画をエリア内にある研究所や教育研修センターと協議し備蓄品の対応を図り避難訓練を行っている。 防火訓練については、自衛消防隊の適切な活動があつて王子消防署から「優良対象物認定証」の継続認定を受けた。	2011 年度	校内の飲料水自動販売機 4 台（現在 3 台）を災害用ベンダーとして覚書を交わす。
	2012 年度	学習机、椅子を定員分一新した。
	2013 年度	「火災・緊急地震速報訓練」を実施している。 地震対応備蓄物品（食料・飲料水・薬品・工具危惧・その他）を準備した。
	2014 年度	学校内の蛍光灯・ダウンライトを LED 灯に交換した。 メイク台を取替て美容室を改装した。
	2015 年度	各教室の音響設備取替えた。
	2016 年度	校舎外壁修繕・新表示看板取付（パンチングメタル）を実施した。 シャンプー台（サイド・バック）を取替えた。 非常階段の蛍光灯を LED 灯に取替えた。 「優良対象物認定」の更新年度であり継続して認定された。
	2017 年度	課外授業（学外学習）、インターンシップについては今後も同様に継続実施して行く。 地震対応マニュアルの完備。
	2021 年度	ICT 環境構築に向け大型 TV を各教室に設置 教職員事務椅子の交換。
	2023 年度	ICT 環境構築に向け Wi-Fi を導入した。

最終更新日付

2026 年 6 月 20 日

記載責任者

鎌田 昌人

6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等をしているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-1-1 施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか。	5	十分に対応できるよう整備されている。	美容師資格取得のための設備は、十分に整備されている。	老朽化の進んでいる設備は毎年入替等を行っている。	固定資産台帳
6-1-2 図書室、実習室等、学生の学習支援のための施設をメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	5	機能している。	専任業者との契約により有効に機能しており、法的対応も十分である。		各種点検メンテナンス報告書
6-1-3 図書室の図書は専門分野に応じて充実しているか	4	充実している。			図書目録（明細表）
6-1-4 学生の休息・食事のためのスペースを確保しているか。	4	確保している。	2017 年 3 月新学生ラウンジ(100 名収容)が完成。1 階・2 階・3 階空き教室も利用		
6-1-5 施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか。	4	取り組んでいる。			
6-1-6 手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか。	5	徹底している。	専門の業者と相談して足りないものは補充。		
6-1-7 卒業生に施設・設備を提供しているか。	4	提供している。	同窓会役員会は新学生ラウンジで実施した。卒業生が学校訪問した場合新ラウンジを使用している。		

6-1-8 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか。	4	対応している。	日常点検は教職員で行い、定期点検は専門業者で行っている。		
6-1-9 施設の増築・改修・設備の更新計画を定め、適切に実施しているか。	4	実施している。	中期計画により、予算編成時に盛り込んでいる。		事業活動収支予算 資金収支予算 固定資産台帳

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設、設備は、美容師資格取得のためには十分対応できており、メンテナンスも専任業者との契約で実施している。2016 年度は株式会社コーセーによる寄附により大幅な施設・設備の取替を実施した。	設備の老朽化に伴い設備の補修・入替えを順次実施している。 (校舎竣工は 1996 年)

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

6-2 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-2-1 学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	5	整備している。	いずれも、教育体制は整備されている。		カリキュラム
6-2-2 学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。	4	教育効果を確認している。	学外学習、インターンシップについては相手先からの評価をもらい確認する体制ができている。		
6-2-3 関連業界との連携による企業研修等を実施しているか。	5	実施している。	1 年次ビューティデザイナーコースは 11 月、ヘアデザイナーコースは2月にインターンシップを実施している。		カリキュラム
6-2-4 学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。	5	明確にしている。			
6-2-5 学外実習について、実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。	5	確保している。			
6-2-6 学外実習等の教育効果について確認しているか。	5	確認している。	インターンシップ先から評価表が提出されてくる。		
6-2-7 学校行事の運営等に学生を積極的に参加させているか。	5	参加させている。	5 月運動会 7 月学園祭 10 月制作発表会		カリキュラム

6-2-8 卒業生・保護者・ 関連業界等、また、学 生の就職先等に行事の 案内をしているか。	5	している。			行事予定表
---	---	-------	--	--	-------

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学外学習、インターンシップについては相手先からの評価をもらい確認する体制ができています。	海外研修については暫く中止となっていたが、2025 年度再開した。 課外授業（学外学習）、インターンシップについては今後も同様に継続実施して行く。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

6-3 校内における防火体制・安全体制を整備し、適切に運用しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-3-1 学校安全計画を策定しているか。	5	自衛消防隊組織を、毎年、見直しを行ってきている。 王子消防署の「優」マークを取得した。	毎年実施している消防設備点検で不備があれば対応している。 「優良防火対象物認定」を2025年6月更新した。	防災マニュアルを地震発生時も含め見直し、完備した。	自衛消防隊組織図 各種点検報告書
6-3-2 学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか。	5	日常の危険箇所確認の担当者2名を定め、定期的に校内・外の点検を行なっている。情報も担当者へ連絡している。	地震時の校内危険箇所を想定し、危険箇所の注意を呼びかけている。 (地震時に物品が廊下に散乱しないよう、廊下に設置されている学生ロッカーの扉カギを施錠するよう注意し、はり紙も貼っている。)	毎朝授業前に校舎全体を担当者がチェックしている。	日常火災予防担当者一覧 防犯カメラ
6-3-3 授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか。	5	実習時は、開始前に教員より道具（ハサミ等）の取扱注意を行っている。	切り傷程度のケガが数件発生したが、救急車を依頼するような大きなケガに至っていない。	実習開始前に必ず教員より道具（ハサミ等）の取扱注意を行うよう行っている。	学生生徒災害傷害保険加入
6-3-4 薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか。	5	対応している。		校内の教室など管理者を決めている。	施設点検表
6-3-5 担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか。	5	整備している。		管理者責任者を決めている。	自衛消防隊組織図 各種点検報告書

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-3-5 防災訓練を実施しているか	5	実施している。	王子消防署指導のもと、学生・教職員による避難・消火訓練実施。	自衛消防隊による対外訓練参加の経験がない。 できれば参加の機会を作りたい。 防火訓練同様に年1回は、地震速報訓練を実施する。	自衛消防隊組織図 防火・防災訓練計画書

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
東日本大地震を教訓に首都圏直下型地震に備えるべく対策を講じている。（避難訓練、備蓄）など 「優良防火対象物認定」を2025年6月に更新した。	東京都行政の指導もあり、直下型に備えた対策を講じている。 2024年、王子消防署からのご指導をいただき、AED（自動体外式除細動器）を使っての人命救助訓練を全職員が参加して行った、継続して訓練を受けたい。 2012年2月王子地区のコーセーグループ事業所（6箇所）と地震対応について連絡会議を開催した。（災害備蓄も入れてもらい備えた。） 防災訓練については、自衛消防隊の適切な活動があつて王子消防署から「優良対象物認定証」をもらっている。 「北区堀船地区防災運営協議会」に加盟しており、災害発生時は近隣の住民との協力が不可欠であり今後はコミュニケーションを図っていく事も考えている。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

基準 7 学生の受入募集

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集活動は適切に行い、学校案内パンフレットは分かり易いものになっている。 また、志望者等の問い合わせ・相談にも適切に対応している。 学校の特徴を全面に出し説明 ① コーセーによる充実サポート ・コーセーの全面的なバックアップで実践的知識、技術が学べる。 ・コーセー、ジルスチュアート、アディクション、ヴィセ、デコルテの化粧品コーナーがあり、自由に利用出来る。 ・教材にもコーセー各種ブランド商品を導入している。 ② 全コース国家試験にチャレンジ ・すべてのコースで美容師免許取得のための充実した国試対策授業が受けられる。 ③ 一人ひとりにわかりやすく丁寧に指導。 ・プロとして誇りを持てる高度で先進的な技術をわかりやすく指導し実践力を身につけます ④ 責任ある進路指導で就職率 100%。 ・実践教育が生んだ高い就職実績と卒業後も続く生涯就職サポート制度であたたかく見守ります。 ⑤ よき社会人としての人づくり。 ・コミュニケーション力や人間力を高めるため日々の生活で正しい習慣を身につけます。 就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は全て活用している。 コーセーへの就職者 34 名	都内にある専門学校の中では文教地区の恵まれた環境にあり、又キャンパスには庭もある。 当校の優位性（コーセーのバックアップしている学校）を強調した入学者確保の活動をしている。 メイク授業に特徴があり、将来を見据えた検定、実習時間が多い、雰囲気が良い、就職率が高い、学費支援がある等、良い面を見て入学してくる学生がいるので、良い面を打ち出し、今後も募集活動を徹底したい。 1 年、2 年の低学年次からのオープンキャンパス参加が多くなった。高等学校の指導ポイントになっている。対応を強化したい。 コンセント・Wi-Fi を設備メンテナンスした。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-1-1 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供をおこなっているか。	5	適正に行なわれている。	募集活動に必要と思われることは全て実施している。	今後も積極的に参加する。	学校案内 募集要項 高等学校教諭向け案内
7-1-2 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか。	5	進路指導の先生に直接会って説明している。 高等学校進路報告会に参加	毎年、募集要項を刷新し、分かり易いものになっている。高校主催、業者主催の会場ガイダンスに積極的に参加している。進路指導の先生にむけて高校訪問行っている	ニーズに沿った募集要項を作成していきたい。 オープンキャンパスだけではなく、学校説明会を実施。	学校案内 募集要項 高等学校教諭向け案内
7-1-3 教員又は保護者向けの案内等を作成しているか。	5	高校教諭向けのリーフレットを作成している。 オープンキャンパスで保護者説明会を実施	広報を設け、担当を置いて対応している。		高等学校教諭向け案内

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
募集活動は適切に行い、学校案内パンフレットは分かり易いものになっている。 また、志望者等の問い合わせ・相談にも適切に対応している。	当校の優位性（コーセーのバックアップしている学校）を強調した入学者確保の活動をする。メイク授業に特徴、実習時間が多い、雰囲気が良い、就職率が高い、学費支援がある等、良い面を見て入学してくる学生がいるので、良い面を打ち出し、今後も募集活動を徹底したい。国家試験合格率 100%復活を目指す。オープンキャンパス参加の高校低学年（1・2年生）の受け入れを続ける。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

7-2 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-2-1 入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始している。	5	行っている。	募集要項		募集要項 ホームページ
7-2-2 専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか。	5	行っている。	総合型選抜エントリー6月開始、9月以降の願書提出10月の推薦型選抜、11月の一般選抜		募集要項 ホームページ
7-2-3 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか。	5	対応している。	オープンキャンパス・説明会、ガイダンス、見学会等（オンラインでも行っている）		オープンキャンパス記録簿
7-2-4 学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等に付いて正確に分りやすく紹介しているか。	5	説明している。	学校案内、ホームページ		学校案内、ホームページ、各媒体サイト、本
7-2-5 広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか。	5	整備している。	管理システム使用		マイナビ、アクセスオンライン
7-2-6 体験入学・オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか。	5	工夫している。	オープンキャンパスは毎月開催。DMを高校ガイダンス、会場ガイダンス、頒布会等で配布。ホームページ、各媒体サイト掲載で告知 体験実習内容は毎回変更		DM、ホームページ、各媒体サイト

7-2-7 志望者の状況に応じて多様な試験、選考方法を取入れているか。	5	取り入れている。	総合型選抜、推薦型選抜(指定校、公募)、一般選抜(オンライン面接も行っている)		募集要項
-------------------------------------	---	----------	---	--	------

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
教育内容(何が学べるか。)どのような資格がとれるかはもちろん、就職実績、卒業生活躍の教育成果など全て活用している。	今後も実績、教育成果等は同様に活用してゆく。 同窓会機関紙を通して、学生募集のPR, 卒業生(企業)訪問などで卒業生活躍を把握して、活躍の様子をPRしていきたい。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

7-3 入学選考基準を明確し、適切に運用しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-3-1 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	公平な基準に基づき行なわれている。	定められた面接用紙に基づいて、適切な評価結果が算出されるように工夫している。		面接評価用紙
7-3-2 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	コース別に正確に把握している。	理事会・評議員会への報告をしているので正確に把握している。		理事会・評議委員会資料

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は、定められた面接用紙に基づいて、複数（2名以上）の面接官による適切な評価結果が算出されるように工夫しているので、適正かつ公平に行われている。 入学選考に関する情報も理事会・評議員会に報告するので正確に把握している。	独自の面接評価用紙を利用している。 面接終了後に面接官と職制が、合否の判定会議を行っている。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

7-4 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-4-1 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	5	妥当なものとなっている。	学費改正申請時の調査資料による。（他校のホームページ・専修学校生徒納金調査まとめ表など）	昼間部は適切と捉えられる	募集要項 他校ホームページ 専修学校・生徒納金調査結果表
7-4-2 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	必要に応じて実施している。	把握している。		他校ホームページ 専修学校・生徒納金調査結果表

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
正確な同分野・他校の学納金の把握に努め、常に適正な学納金に心がける。	少子化の影響と思われる入学金の、実質的な値引き（入学に関する減免等）競争が激化、体力勝負の感があり憂慮している。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

7-5 経費内容に対応し、額納金を算定しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-5-1 学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか。	5	明確にしている。	他校の学費改正申請時の調査資料による。		他校ホームページ 専修学校・生徒納金調査結果表
7-5-2 学納金の水準を把握しているか。	5	必要に応じて実施している。	他校ホームページ及び毎年実施される専修学校・生徒納金調査まとめを参考になっている。		他校ホームページ 専修学校・生徒納金調査結果表
7-5-3 学納金等徴収する金額はすべて明示している。	5	明示している。	募集要項 入学前の学校説明会		募集要項

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
正確な、同種・他校の学納金の把握に努め、常に適正な学納金に心がけている。	

最終更新日付

2026年6月20日

記載責任者

鎌田 昌人

7-6 入学辞退者に対し授業料等について適切な取扱いを行っているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-6-1 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適正に取扱っているか。	5	文科省平成18年12月23日通知の通り、入学辞退者の授業料は返還している。	募集要項に明記している。		募集要項

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成18年12月23日の文科省通知通り、入学辞退者の授業料は返金している。（今後も継続していく。）	入学辞退者の授業料の返還はもちろん、退学者についても半期単位で未経過の授業料を返還している。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

基準 8 財務

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
【昼間部】：2 年制 ① 定員 少子化時代等により、入学定員を 2008 年 4 月から入学定員 120 名に変更した後、定員割れが続き学校経営を圧迫していたが、2017 年・2018 年度とほぼ定員に近い入学者が確保できた。2019 年度には定員を 160 名に変更。 ② 納付金 2026 年 4 月時点で 273 万円（1 年次 147 万円、2 年次 126 万円）。 【通信部】：3 年制 ①2019 年度より通信の募集を停止した。 ②納付金は 85 万円	校名変更に伴い当校の優位性を全面的に出し学生募集を行ったところ、2017 年度は 118 名、2018 年度は 120 名、2019 年度は 142 名、2020 年度は 156 名、2021 年度は 160 名と 6 年連続入学者が増加した。 ① コーセーによる充実サポート ・コーセーの全面的なバックアップで実践的知識、技術が学べる。 （周辺施設「研究所・王子研修センター・本社施設」の利用ができる。） ・教材にもコーセー各種ブランド商品を導入している。 ② 全コース国家試験にチャレンジ ・すべてのコースで美容師免許取得のための充実した国試対策授業が受けられる。 ③ 少人数でわかりやすく丁寧に指導。 ・プロとして誇りを持てる高度で先進的な技術をわかりやすく指導し実践力を身につけます ④ 責任ある進路指導で就職率 100%」。 ・実践教育が生んだ高い就職実績と卒業後も続く生涯就職サポート制度であたたかく見守ります。 ⑤ よき社会人としての人づくり。 ・コミュニケーション力や人間力を高めるため日々の生活で正しい週刊を身につける。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

8-1 学校及び法人運営の長期的な財産基盤は安定しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-1-1 応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか。	5	把握している。			学生在籍数 活動区分資金収支計算書 事業活動収支計算予算
8-1-2 収入と支出バランスがとれているか。	5	年度によってバラツキはあるが、長期的にはバランスがとれている。			事業活動収支計算予算
8-1-3 貸借対照表の翌年度繰越消費収入超過額がマイナスとなっている場合、それを解消する計画を立てている	5	プラスを維持している。			貸借対照表
8-1-4 消費収支計算書の当年度消費収入超過額マイナスになっている場合、その原因を正確に把握しているか。	5	2018年度よりプラスとなっている。			事業活動収支計算予算
8-1-5 設備投資が過大になっているか。	5	収入と支出バランスを考慮した設備投資を行っている。			貸借対照表 活動区分資金収支計算書 事業活動収支計算予算 設備投資実行申請書
8-1-6 負債は返還可能な範囲で妥当な数値となっているか。	5	借入金の返済は、2014年度決算で完済した。			貸借対照表

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
2018 年度に定員を 120 名から 160 名に変更した。 入学者は 2016 年から 6 年連続増加し、2021 年度は 160 名となった。 2018 年度より黒字化を達成し、2020 年度は累計損失も解消した。 財務基盤は好転している。	教職員会議で決算情報を共有し、経費の削減や節約について周知徹底を図っている。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

8-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財産分析を行っているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-2-1 最近 3 年間の収入状況（消費収支・資金収支）による財務分析を行っているか。	5	当校の問題点を把握するために財務分析を行っている。			理事会・評議員会資料 決算資料 事業報告書 活動区分資金収支計算書 事業活動収支計算予算書
8-2-2 最近 3 年間の財務目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか。	5	財務分析は実施している。			貸借対照表 活動区分資金収支計算書 事業活動収支計算予算書
8-2-3 最近 3 年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データに償還計画を策定しているか。	5	借入金の返済は 2014 年度で完済した。			
8-2-4 キャッシュフローの状況を示すデータはあるか。	5	ある。			活動区分資金収支計算書
8-2-5 教育研究費比率、人件費比率は適切な数値になっているか。	5	適切な水準となる。	入学者増加・無駄な支出抑制		
8-2-6 コスト管理を適切に行っているか。	5	行っている。	予算編成方針	「徹底したムダを排除」の項目を予算」編成方針としている。	予算編成方針
8-2-7 収支状況について自己評価しているか。	5	評価している。			

8-2-8 改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか。	5	財務は適正水準。			
---------------------------------------	---	----------	--	--	--

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
2018 年度より単年度黒字化が続き、2020 年度は累計損失も解消した。財務数値も適正な水準で推移している。	次年度以降もこの状況を確保する事により財務内容が改善できる。 「当校の魅力」・「バックアップしてくれているコーセー」の特色を構築して経営改善に取り組んで行く。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

8-3 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期経営を策定しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-3-1 予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか	4	概ね取れている。		中期の予算計画については、設備投資計画を策定している。	理事会・評議員会資料 事業計画（案） 予算（案） （活動区分資金収支予算書） （事業活動収支予算書）
8-3-2 予算の編成課程及び決定過程は明確になっているか。	4	理事長に事前調整し、理事会・評議員会で承認を受けている			

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
特になし	特になし

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

8-4 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-4-1 予算の執行計画を策定しているか。	5	策定している。	毎年2月理事会・評議委員会で事業計画(案)・予算(案)を報告して承認を得ている。		事業計画(案) 予算(案) (活動区分資金収支予算書) (事業活動収支予算書)
8-4-2 予算と決算に大きな乖離を生じていないか。	5	大きな乖離はない。	保守的な予算を編成している。		
8-4-3 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか。	5	行っている。			
8-4-4 予算規程、経理規程を整備しているか。	2	見直しが必要である。			
8-4-5 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っているか。	5	行っている。			

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
事業計画及び予算執行は重要な事項であり、毎年2月に計画(案)、5・6月に実績を理事会・評議委員会で報告して承認を得ている。 (200万以上の案件については、「予算実行申請書・設備投資実行申請書」を理事長に提出して承認を得ている。	

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

8-5 私立学校法及び寄附行為に基づき適正に監査を実施しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-5-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか。	5	実施している。	選任された2名の監査役のもと、1日かけて帳簿・帳票、事業のチェックを受けている。		監査報告書
8-4-2 監査報告書を作成し理事会等に報告しているか。	5	作成していただき報告している。	理事会・評議委員会資料の監査報告書		理事会・評議委員会資料
8-4-3 監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか。	NA	監査法人による監査は実施していない。(義務でない)			
8-4-4 監査時における改善意見について記録し、適切に対応している。	5	対応している。	監査報告書、監査終了後に両監事（監査役）から事業報告及び会計報告について意見交換の場を設けている。		監査報告書

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
監査は重要な事項で、2名の監事（監査役）から監査を受けている。	

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

8-6 私立学校法に基づく財産情報公開体制を整備、適切に運用しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-6-1 財務公開規程を整備し、適切に運用しているか。	5	財務情報公開の体制は整備できている。	毎年資料の差換えを行っている。		財務情報公開綴
8-6-2 公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか。	5	財務情報公開の形式は出来ている。	毎年資料の差換えを行っている。		財務情報公開綴
8-6-3 財務公開の実績を把握しているか。	5	把握している。			
8-6-3 公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか。	5	閲覧方法についてホームページに掲載している。			

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
体制整備及び形式はできているが法制定後、閲覧の申請は現時点ではなし。また、閲覧方法について 2020 年度よりホームページに掲載している。	

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令遵守は学校にとって極めて当然であり重要なことである。 理想としては推進体制の整備や教職員・講師への周知などの徹底が求められる。 （株）コーセー法務部によるコンプライアンス研修を学生向けに実施している。 ただし、個人情報保護の対応については、最低限の規則の作成と運用を行っている。また、適宜、注意喚起を行っている。	大勢の学生を預かる組織として、教職員・講師に特に求められるのは「服務規則の徹底」とセクシャルハラスメント等の「人権侵害の防止」である。また、個人情報の漏洩には十分な注意が必要であり、研修などの場を増やすべきと考える。 万一発生したときの財政負担を考慮して、個人情報漏洩保険に加入している。 オープンキャンパス及び資料請求に関する「個人情報」の取扱は、業者と個人情報に関する覚書を締結しているが、情報の量が多く今後検討して行く。 （全国からの入学に関する資料請求は、過去入学の多い関東地方に絞っていく事も考えたい。） ネットに侵入するウイルス対策として、（株）コーセーの情報ネットワークに入り一元管理を行っている。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

9-1 法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-1-1 関係法令及び設置基準に基づき、学校運営を行うとともに。必要な諸届等を定期説に行っているか。	4	適正運営がなされている。			
9-1-2 学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか。	4	必要に応じ実施している。			
9-1-3 セクシャルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか。	3	(株)コーセーに準拠。			就業規則 ハラスメント防止に関する規定
9-1-4 教職員・学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか。	3	窓口としては設けていないが、各学年主任、さらには、教務課長、そして副校長と相談の形はできている。	コンプライアンスに関しては、問題がある場合や懸念事項は、常に責任者会議にて共有されている。		
9-1-5 教職員・学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか。	5	行なっている。	年に1度コンプライアンス研修を行っている。(学生、教職員)		コンプライアンス研修冊子

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
都の指導監査が行われることがあり、指導事項については、都度理事・評議委員会に図り、学則等を改正している。 令和8年度は、学校教育法改定による「学則変更」を所定の段階を経て行った。	

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

9-2 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-2-1 個人情報保護に関する取扱方針・規程に定め、適切に運用しているか。	4	規定を定め運用している。	就業規則の個人情報管理規定。	書庫、保管庫などの管理はしている。	就業規則 秘密保持・個人情報に関する誓約書
9-2-2 大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程等を定め、適切に運用しているか。	4	定めている。	導入時の全員教育とウイルス汚染など、世間の動きを勘案し注意を喚起している。		
9-2-3 学校が開設したサイト運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか。	4	防止策を講じている。	パソコンのウイルスについて担当者が監視して対策を講じている。		
9-3-4 教職員・学生に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか。	4	都度実施している。	学生を含めて漏えい保険に加入している。		個人情報漏えい保険

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護法に基づく各種規則やマニュアル・ルール細則などを作成している。 規定書類が多すぎて実務上では、必ずしも有効に活用されていない。 各部署で、個人情報に対する適否が検討されており、無関心ではない。	個人情報漏洩保険に加入している。 （万一発生したときの財政負担を考慮し加入。） 入学に関する個人情報量が多く今後の課題である。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

9-3 自己評価実施体制を整備し評価を行っているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-3-1 実施に関し学則及び規程を整備し実施しているか。	3	適宜、学則の見直しや規程の整理をしている。	必要に応じ実施している。	特になし	理事・評議員会資料
9-3-2 実施に係る組織体制を整備し、毎年定期的に全学で取組んでいるか。	3	完璧とはいえないまでも、組織ごとのミーティング等、取り組みは出来ている。	個々の振り返りを教職員会議にて確認		
9-3-3 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか。	3	常に問題に向き合う姿勢で、授業等、学生との向き合い方を試行錯誤し、良い方向へ改善努力している。	教職員共有の場は、リアルだけでなく、PC 内の共有フォルダで、クラス毎の動きが見られる仕組みが出来ている。		

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校にとって最も重要課題の1つである。 そんな中でも、なぜやらねばならないのか、主旨をしっかり啓蒙し理解させ、正しき学校の姿を確立する重要性を教職員全員が認識する必要がある。	日常業務や年間行事の遂行に追われ、教職員に時間的余裕がないのが実態である。 全員が自己点検・自己評価に取り組んでいるとは言い難く、重要性を十分に共有できていない。 また常時、点検ができる体制を確立する。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

9-4 自己評価を公表しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-4-1 評価結果を報告書に取りまとめているか。	4	実施してとりまとめている。	自己点検・自己評価表	一部の人間、部署が行っている。	自己点検・自己評価表 施設自己点検書
9-4-2 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか。	5	ホームページに掲載し、公表している。(2020年4月～)	ホームページ	特になし	特になし

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校にとって最も重要課題の1つである。 そんな中でも、なぜやらねばならないのか、主旨をしっかり啓蒙し理解させ、正しき学校の姿を確立する重要性を教職員全員が認識する必要がある。	評価結果を取りまとめて教職員含め、内外で共有されている。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

9-5 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-6-1 実施に関し、学則及び規程等を整備実施しているか。	4	整備されている。	学則、規定等実施できる資料は整備されている。		学則 就業規則
9-6-2 実施のための組織体制を整備しているか。	4	「学内評価検討委員会」の立ち上げを検討中			
9-6-3 設置課程・学科の関連業界等から委員を適切に専任しているか。	4	関連業界から 3 名の委員選考を行った。			
9-6-4 評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか。	3	改善できる部分は速やかに動けるように打合せ共有の場をつくっている。	まだ全ての項目が改善出来ているとはいえないが、耳を傾けながら、実務整備に取り組んでいる。		

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校関係者評価は、重要な事項であり、頂いたご意見を参考に改善していく。	

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

9-6 学校関係者評価結果を公表しているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-6-1 評価結果を報告書に取りまとめているか。	5	学校関係諸評価を実施し、評価結果を報告書に纏めている。			
9-6-2 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか。	5	ホームページに公表している。	ホームページにて掲載を更新、継続。		

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校関係者評価は、重要な事項であり早急に体制を整えたい。	

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

9-7 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-7-1 学校の概要教育内容、教職員等の教育情報を積極的に公開しているか。	5	公開している。	当校の特色など学校案内、ホームページはもちろんオープンキャンパスで説明している。		学校案内 ホームページ
9-7-2 学生・保護者、関連業界等広く社会に公開しているか。	5	公開している。	保護者会や授業参観などでも説明している。		学校案内 ホームページ 入学式後の保護者会 授業参観日

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校にとって最も重要課題の1つである。 そんな中でも、なぜやらねばならないのか、主旨をしっかり啓蒙し理解させ、正しき学校の姿を確立する重要性を教職員全員が認識する必要がある。	全員が自己点検・自己評価に取り組んでいくべく、重要性を教職員会議等で伝え、課題と向き合い、常時、点検し、確立していく体制を継続する。

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

基準 10 社会貢献・地域貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
社会貢献、地域貢献は、本校にとって重要課題の1つである。 当校（美容学校）の特性や学校施設を活かし今後は積極的に取り組んでいく予定である。 ・北区の福祉施設でネイル、メイク等の美容講習を実施している。今後も、毎年、実施継続していく。	当校の特徴・特性や学校施設を活かした貢献は多くあると思う。 地域の施設や、北区との連携で、貢献活動を継続していきたい。

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

10-1 学校の教育資源を使用した社会貢献・地域貢献を行っているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-1-1 産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか。	3	北区福祉部と連携して、福祉施設でのボランティア活動を毎年行っている。			
10-1-2 企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか。	3	堀船中学校（現在、北区教育委員会から「アントレプレナーシップ校」の指定を受けている）の生徒様が校長と共に当校へお越しになり、北区の未来を共に考える座談会を当校学生と開いた。			
10-1-3 国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか。	2	直接ではないが、関連するコーセー研究所とは、カリキュラム上で、連携をとる場面あり。			
10-1-4 学校施設・設備等を地域・関連業界・卒業生に開放しているか。	3	同窓会役員会、総会等にて、解放している。	・同窓会役員会で使用 ・総会を学校で実施した。		
10-1-5 高等学校等が行うキャリア教育実施に教員を派遣するなど積極的に協力・支援しているか。	3	高等学校に積極的に出向き、将来の進路に向き合う場としてのガイダンスなどに参加している。			
10-1-6 学校の実習施設を活用するなど、高等学校の職業教育の授業実施に協力・支援しているか。	4	オープンキャンパスなど、幅広く門戸を開き、美容実習など職業体験の場としている。			

10-1-7 地益の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を展開しているか。	4	北区施設にてボランティア活動を通じ、美容講座などを開催している。			
10-1-8 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか。	4	北区防災課による地区防災に関する打合せや防災マニュアル作成に協力している。			
10-1-9 教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修・教育に取り組んでいるか。	4	学生、教職員共に、社会問題に対する意識付け、教育を定期的に行っている。			

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校では、教職員に対し、教育、研修の必要性を説き、理解させている。	

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

10-2 国際交流に取り組んでいるか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-2-1 海外の教育機関との国際交流の推進に関する方針を定めているか。	NA				
10-2-2 海外の教育機関と教職員の人事交流・共同研究等を行っているか。	NA				
10-2-3 海外の教育機関と留学生の受入れ、派遣、研修の実施など交流を行っているか。	NA				
10-2-4 留学生の受入れのため、学修成果、教育目標を明確化し、体系的な教育課程の編成に取り組んでいるか。	NA				
10-2-5 留学生の受入れを促進するために学校が行う教育課程、教育内容、方法等について九々内外に積極的に情報発信を行っているか。	NA				

★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
---------	--------------------

国際交流は、本校にとって重要課題の 1 つであるが現在は整備されていない。	
---------------------------------------	--

最終更新日付	2026 年 6 月 20 日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	-----------------	-------	-------

10-3

10-3 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-3-1 ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか。	3	毎年、北区「名主の滝いこいの家」にて2日間に渡り、高齢者向け美容ボランティアを実施。	美容ボランティア講座内容として①ヘッド・フェイシャル②ネイル・ハンドケアにて開催し、参加者アンケートも「満足」との返答多数。	今後、回数を増やしていくことを検討する。	
10-3-2 活動窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか。	3	教務部を中心に、授業の一環として、ボランティア活動を行っている。		外部から見えるよう工夫する。	
10-3-3 ボランティアの活動実績を把握しているか。	3	把握している。			
10-3-4 ボランティアの実績を評価しているか。	3	福祉施設で実施した美容講座を受講した高齢者から高評価を得られた。			
10-3-5 ボランティアの活動結果を学内で共有しているか。	3	実施前後に共有している。			

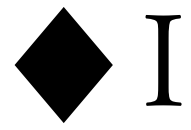
★評価 ⇒ 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
---------	--------------------

ボランティア活動は本校にとって重要課題である。 2025年度は、北区福祉施設でネイル、メイク等美容講習を実施できた。	ヘアやメイク、ネイル等美容学校として出来ることはたくさんあると考える。
---	--

最終更新日付	2026年6月20日	記載責任者	鎌田 昌人
--------	------------	-------	-------

閲覧用



ホームページの TOP ページ

Hair & Make
美容をたのしく

Information

2026.04.23 2026年度 ゴールデンウィーク期間（4月29日（水）～5月6日（水））
のお知らせ



KOSE OPEN CAMPUS

2026年のオーキャン 美容トレンド最先端！

カット

メイク

ヘアカラー

マツエク

ヘアアレンジ

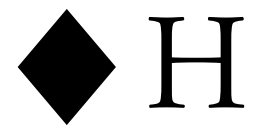
ネイル

オーキャンパス

資料請求



閲覧用



学校関係者評価

設問	自己評価	学校関係者評価
<教育理念・目的・育成人材像> ・理念、目的、育成人材像は定められているか。 ・育成人材は業界等の人材ニーズに適合しているか。 ・理念の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか。	・教育理念、教育方針、育成人材像は定めている。 学生自ら考え動く「自立創造」を目指す。 ・業界ニーズに適合している。 ・当校は、ヘアデザイナーコースとビューティデザイナーコースがあり、両コースとも美容師国家資格が取得できるカリキュラムとなっている。 ・当校はコーセーを母体としているので、教えてくれる先生、使っている教材、自由に使えるコスメコーナーなど他校では真似できない特色がある。 ・新しい時代を切り開く美容価値向上に繋がる取り組みが今後の課題となる。 ・昨年2024年度入学の1年生より(現2年生)、ヘアデザイナーコースとビューティデザイナーコースの混合クラスを実現し、相互間での向学効果が現れつつある。	・適切に行われている。 ・業界の人材ニーズに適合している。 ・美容サロンでは、技術や人間性も含めて総合力が必要。総合力を身に着けた人材を今後も育成して欲しい。 ・どういう人材を求めるか。 ⇒将来自分の店を持ちたいなど目標がある人、キャリアアップを目指す人材。 ・就職後、すぐ辞めることなく継続する力、耐性をつけられるよう、専門学校での2年間育てて欲しい。 ・全コースで全員に美容師国家資格を取らせる上において合格率UPのための指導改善、強化が課題だが、2025年度に関しては、総合合格率も97.1%と十分評価に値する。 ・誰もが授業を受けたいような名物先生、授業内容が退屈させない話術に長けた先生、カリスマ美容師など他の学校に引けを取らない教師がいて欲しい。 ・学内コンクールなどで、学生たちの競う意識を高め、技術面だけでなく、クリエイティブな発想面が強化され、今後、期待している。
<学校運営> ・理念に沿った運営方針を定めているか。 ・理念を達成するための事業計画を定めているか。 ・意思決定システムを整備しているか。 ・情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか。	・教育方針を定めている。 ・毎年の理事会、評議員会にて事業計画を審議している。 ・毎週一回職制会議、月一回教職員会議を実施している。 ・ICTを駆使し、学生との連絡、講師の課題発信など、システム構築が進んできた。	・適切に行われている。 ・適切に行われている。 ・適切に行われている。 ・適切に行われている。

設問	自己評価	学校関係者評価
<教育活動> ・理念に沿った教育課程の編成方法、実施方針を定めているか。 ・学科毎に教育達成レベルを明確にしているか。 ・教育目的、目標に沿った教育課程を編成しているか。 ・教育課程について外部の意見を反映しているか。 ・成績評価、終了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。 ・教員の質的向上への取り組みを行っているか。	・学年別、クラス別に年度目標を掲げ、目標達成に向けて努力している。 ・学科毎に担当講師が指導目標を掲げ、指導している。 ・教務課目標を設定し、その方策に則った教育課程を編成している。 ・「規律ある学校づくりをめざし、マナーやルールを守る」ことを重点課題とし、3ポリシー（・アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー）を共有している。 ・理事や評議員の意見を聴き、教育に参考にしている。 ・コーチングの時間を設け、2年生が1年生を教える授業を行い、1年生は技術の向上、2年生は教えることにより、自らの技術の確認とコーチング力を身につける重要な時間となっている。 ・美容技術取得の魅力を如何に訴求するか課題にする。 ・スチューデントマニュアルに成績評価、単位認定の流れを明確化し運用している。 ・外部研修は技術面の向上と併せて、他校教員との交流を図ることが大きな刺激、モチベーションアップに繋がる。授業との関係もあり、研修参加数が限られているが、少しでも、多くの教職員が参加出来る環境を作りたい。 ・今年2026年3月、当校の教職員、講師を対象とした「メンタルヘルス研修」を実施。 メンタル面が不安な学生への対応に向けて研修を行った。	・適切に行われている。 ・適切に行われている。 ・適切に行われている。 意見は次のとおりです。 ・ワインディング、オールウェーブ、カットなどの技術を好きになることこそ、美容の道への第一歩。 ・技術面習得において、まずは真面目に向き合い継続する力を身につけさせることが学生の成長に繋がる。 ・学生の成長とは、担任の力でどれだけ伸びたかを評価すること。 ・学生のモチベーションをいかに上げていくかも担任の役割、責任である。 ・適切に運用されている。 ・他校と比べても引けを取らない教員の確かな技術力と、指導力強化に向けての研修参加は必要。 ・著名な美容師顧問、特別アドバイザーなど教員育成のための存在感のある人が欲しい。 ・今回実施した「メンタルヘルス研修」後の教員の意識や行動の変化など、今後、検証して欲しい。

設問	自己評価	学校関係者評価
<学修成果> ・就職率の向上が図れているか。	教員もひとりで対応することなく、スクールカウンセラーや、学校医に繋ぐことの大切さを知った。 当校の学生としっかり向き合う為の研修となり、教職員の意識向上に繋がった。 ・外部講師に頼らず、当校教員に資格を取らせる機会を増やし、教員自ら授業を行う体制を強化している。 ・コーセー本社や日本販社との情報共有により、実践的な教育に繋がる要素を強化する。 各事業部：美容開発部、人事部、法務部 などとの共有。 * 研究所、美容開発部ビューティクリエーションユニットは選択授業有 ・就職率は昨年度の100%に続き、本年度も100%を維持。（ヘアデザイナーコース、ビューティデザイナーコース共に就職率100%） ※就職希望者就職率100% ・コーセーグループへ2026年4月入社人数は34名。	・2026年5月に開催された理事会、6月の評議員会では、国家試験対策、退学率軽減に向けて教員の更なる強化を期待しているとの声があがった。 新たな取り組み「ウイネット」への期待も大きい。 ・就活に向けたサポートにより、就職希望者において、毎年就職率100%であることは素晴らしい。
・資格、免許取得率の向上が図られているか。	・2026年春 美容師国家試験合格率97.1%%（全国平均87%）実技100%（不合格者なし） ・学科97.1%（不合格者4名） ・全員美容師資格を取らせる為、教員一丸となって、合格率100%を目指すサポートをし、上記結果に繋がった。 学科外部講師の授業に教員も参加するなど、学生たちの授業サポートをより強化していく。	・就職率とともに国家試験合格率は美容学校の評価にダイレクトに繋がる。学生の意識付けが重要だと思うが、教員の熱意が学生に影響する。 教員は学生に「絶対合格する」というポジティブな意識を植え付けるために熱意を持って対応すること。 ・実技合格率100%だったことは、素晴らしい。 ・学科サポートをより強化して欲しい。
・卒業生の社会的評価を把握しているか。	・都度、サロンや会社に卒業生の評価を訊ねている。 ・卒業生に母校に来てもらい、在校生に向けて、就業体験を話してもらうなど、卒業後の状況を共有する場がある。	・同窓会を利用して、横の繋がりを作り、声を掛け合い情報を収集する。 ・近年入社した卒業生の動向を、もっと積極的に聴いて欲しい。
<教育環境>		

設問	自己評価	学校関係者評価
・教育上の必要性に対応した施設、設備、教育用具を整備しているか。 ・学外研修、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。 ・学校における安全体制を整備し、適切に運用しているか。 <学生の募集と受け入れ> ・学生募集活動を適切、効果的におこなっているか。 ・入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか。 ・入学辞退者に対し授業料等について、適正な取り	・シャンプー室、メイク室、模擬美容室、ウィッグ棚、学生ラウンジなどの整理整頓。 ・学科、実技コンテンツ、教科書、教材等学習ツールのデジタル化の整備を進める。 ・インターンシップは、毎年実施しており、参加学生たちは、現場の状況を知り、就職活動に活かしており、その意味は大きい。 ・昨年2025年8月、韓国にて美容研修を行った。参加者には、終了証が授与され、体験内容も好評だった。 ・毎年春に、消防訓練を消防署立ち合いの下で実施している。 ・非常用キットを人数分用意している。 ・学校のセキュリティ（夜間、休日）はSECOMで行っている。 ・日常の危険個所確認など定期的に校内外の点検を行っている。 ・オープンキャンパス年間42回程度実施。指定校を中心に、進路指導教諭との面談を行っている。 2025年度は37校の高校訪問をすることができた。 また、高校進路ガイダンスも156校に実施した。 ・女子学生の在籍率が高く、男子学生入学を強化することも課題のひとつ。オープンキャンパス等の個人面談でもはたらきかけたい。 ・ヘアデザイナーコースの人数を増やしたい。 ・当校が求める学生像を明確にしている。 ・授業料を支払い、入学前に辞退した者には授業料は	・適切に対応している。 ・インターンシップは重要、実際の職場での体験はサロンにとっても学生にとっても大切である。引き続き実施して欲しい。 ・海外研修後の報告共有をお願いしたい。 ・適切に対応している。 ・適切に対応出来ている。ここ数年は受験者が年々増加しており、教職員が一丸となって募集活動を効果的に行っている事が分かる。 ・ビューティデザイナーコースの比率が高いが、美容師希望者は決して減少していないので、ヘアデザイナーコースの入学者強化も大切。 ・適切に運用出来ている。 ・適切な取り扱いを行っている。

